

「自衛隊・防衛問題に関する世論調査」の概要

令和5年3月
内閣府政府広報室

調査対象	全国18歳以上の日本国籍を有する者3,000人 有効回収数1,602人（有効回収率53.4%）
調査期間	令和4年11月17日～12月25日
調査方法	郵送法
調査目的	自衛隊・防衛問題に関する国民の意識を把握し、今後の施策の参考とする。
調査項目	1 自衛隊に対する関心について 2 自衛隊に対する印象について 3 自衛隊の規模について 4 自衛隊の役割と活動について 5 身近な人が自衛隊員になることについて 6 防衛への意識について 7 日本の防衛のあり方について 8 科学技術の防衛用途への転用について
調査実績	「自衛隊に関する世論調査」（昭和44年9月） 「自衛隊・防衛問題に関する世論調査」 （昭和47年11月、昭和50年10月、昭和53年12月、昭和56年12月、 昭和59年11月、昭和63年1月、平成3年2月、平成6年1月、 平成9年2月、平成12年1月、平成15年1月、平成18年2月、 平成21年1月、平成24年1月、平成27年1月、平成30年1月） 「自衛隊の補給支援活動に関する特別世論調査」（平成21年1月）
関係府省庁	防衛省
その他	1 新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、調査員と調査対象の方との接触を回避するため、郵送法で実施した。 2 平成30年1月調査までは調査員による個別面接聴取法で実施しているため、郵送法で実施した令和4年11月調査との単純比較は行わない。 また、平成27年度までは、調査対象者の年齢が20歳以上であったが、平成28年度以降は18歳以上の方を調査対象に実施している。 3 図表の数値(%)は、表章単位未満の位で四捨五入しているため、内訳の合計が100にならないこともある。

1 自衛隊に対する関心について

(1) 自衛隊についての関心

問1. あなたは、自衛隊について関心がありますか。(は1つ)

令和4年11月

関心がある(小計)

78.2%

・非常に関心がある

19.1%

・ある程度関心がある

59.1%

関心がない(小計)

20.2%

・あまり関心がない

16.9%

・全く関心がない

3.2%

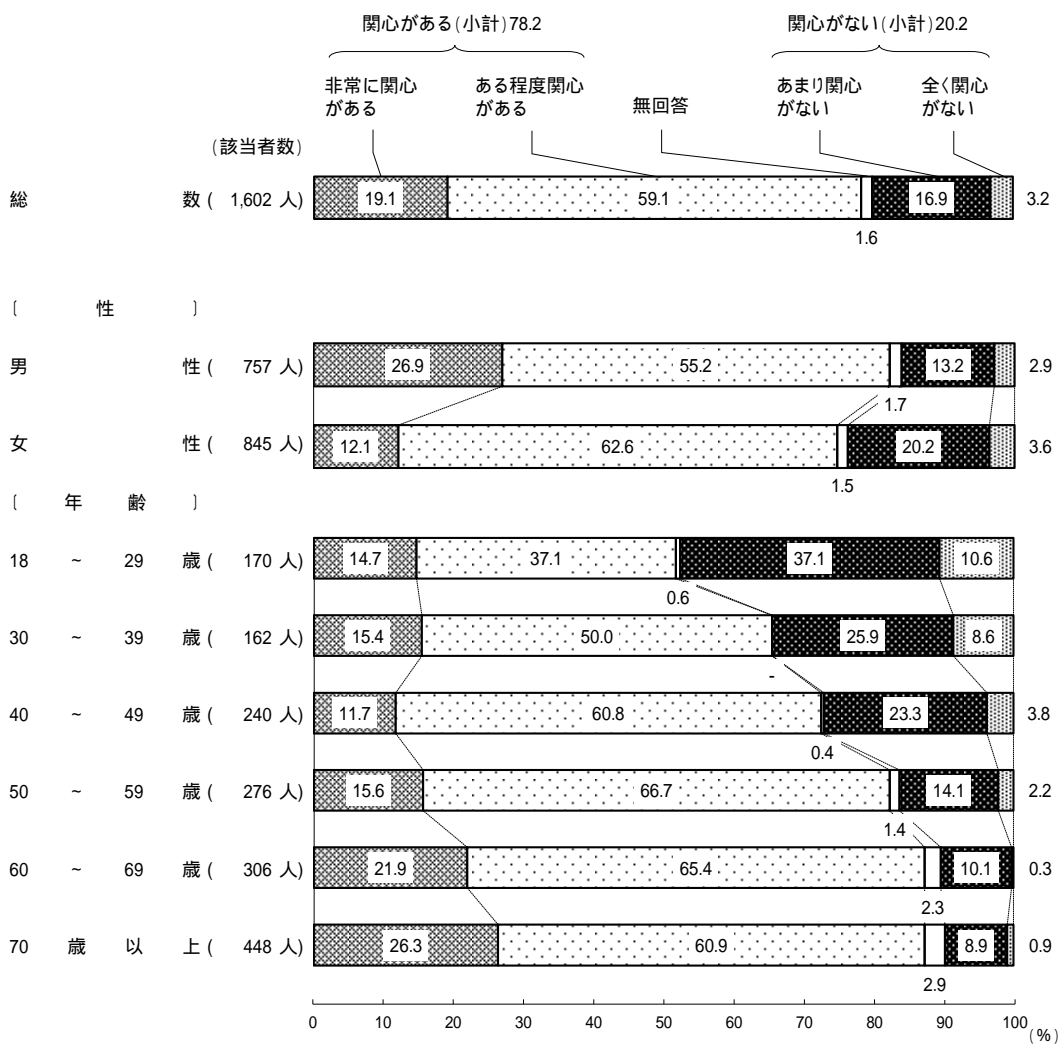


表 1 自衛隊についての関心

	該 当 者 数	関 心 が (小 計) る	関 心 が (小 計) る		関 心 が (小 計) い	関 心 が (小 計) い		無 回 答
			非 常 に 関 心 が あ る	あ る 程 度 関 心 が あ る		あ ま り 関 心 が な い	全 く 関 心 が な い	
	人	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	1,602	78.2	19.1	59.1	20.2	16.9	3.2	1.6
大 都 市	427	79.4	17.1	62.3	18.5	15.5	3.0	2.1
東 京 都 区 部	96	80.2	16.7	63.5	17.7	15.6	2.1	2.1
政 令 指 定 都 市	331	79.2	17.2	61.9	18.7	15.4	3.3	2.1
中 都 市	669	76.7	18.8	57.8	21.8	18.7	3.1	1.5
小 都 市	371	79.5	21.6	58.0	19.4	15.6	3.8	1.1
町 村	135	78.5	20.0	58.5	19.3	16.3	3.0	2.2
〔性〕								
男 性	757	82.2	26.9	55.2	16.1	13.2	2.9	1.7
女 性	845	74.7	12.1	62.6	23.8	20.2	3.6	1.5
〔年齢〕								
18 ~ 29 歳	170	51.8	14.7	37.1	47.6	37.1	10.6	0.6
30 ~ 39 歳	162	65.4	15.4	50.0	34.6	25.9	8.6	-
40 ~ 49 歳	240	72.5	11.7	60.8	27.1	23.3	3.8	0.4
50 ~ 59 歳	276	82.2	15.6	66.7	16.3	14.1	2.2	1.4
60 ~ 69 歳	306	87.3	21.9	65.4	10.5	10.1	0.3	2.3
70 歳 以上	448	87.3	26.3	60.9	9.8	8.9	0.9	2.9

表 1 - 参考 自衛隊に対する関心

	該 当 者 数	関 心 が (小 計) る	関 心 が (小 計) る		関 心 が (小 計) い	関 心 が (小 計) い		わ か ら な い
			非 常 に 関 心 が あ る	あ る 程 度 関 心 が あ る		あ ま り 関 心 が な い	全 く 関 心 が な い	
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成 30 年 1 月 調査	1,671	67.8	14.9	52.9	31.4	25.9	5.5	0.8

(注 1) 平成30年1月調査では、「あなたは自衛隊について関心がありますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注 2) 平成30年1月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(ア) 自衛隊に関心がある理由

(問1で「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と答えた者に)
 問2. 自衛隊に関心がある理由は何ですか。(は1つ)

令和4年11月

- ・日本の平和と独立を守っている組織だから 28.9%
- ・国際社会の平和と安全のために活動しているから 10.3%
- ・大規模災害など各種事態への対応などで国民生活に密接なかかわりを
持っているから 53.1%
- ・マスコミなどで話題になることが多いから 1.6%
- ・国民の税金を使っているから 3.8%

(自衛隊について「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と答えた者に)

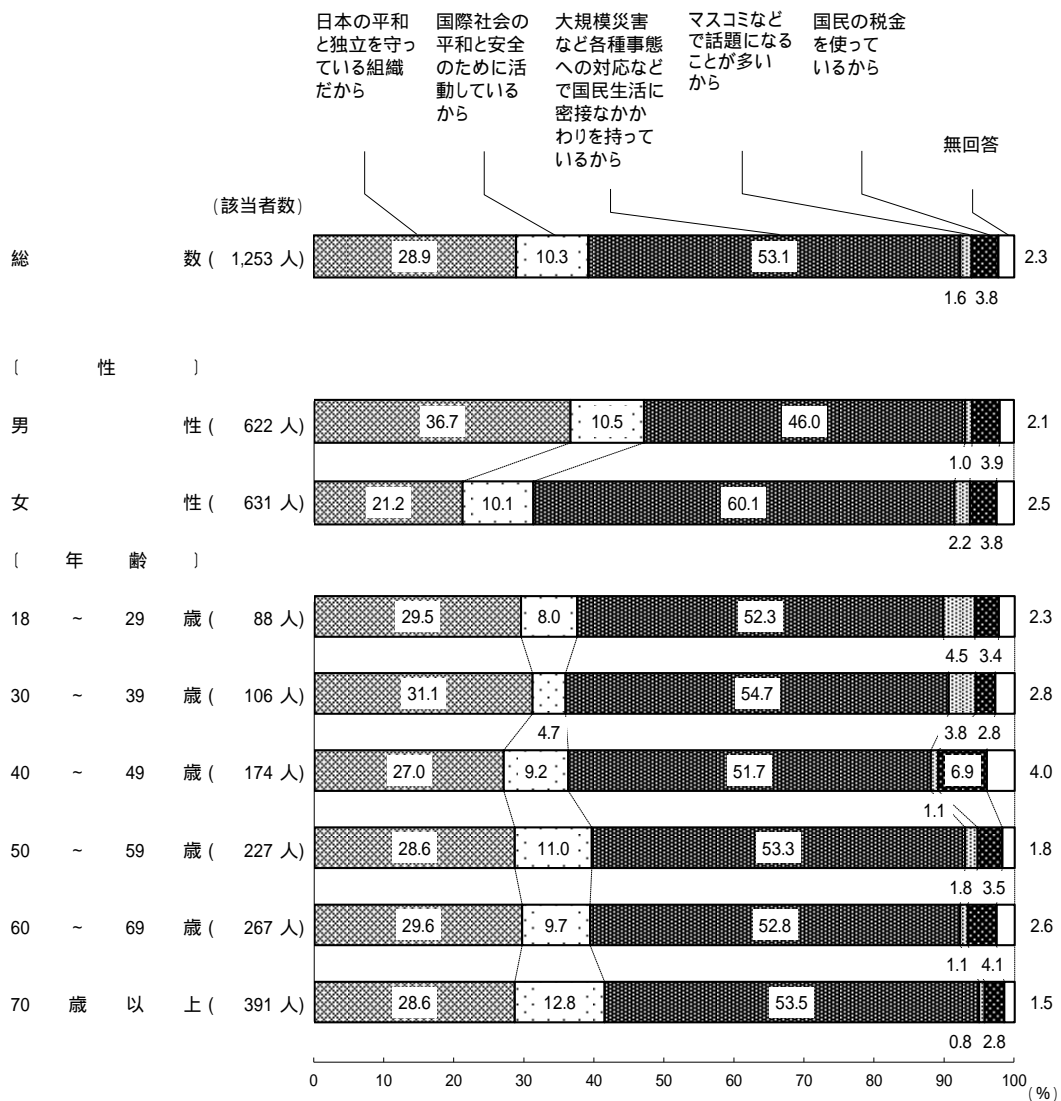


表2 自衛隊に関心がある理由

(自衛隊について「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と答えた者に)

	該 当 者 数	て 日 本 の 平 和 と 独 立 を 守 つ て い る 組 織 だ か ら	た め に 国 際 社 会 の 平 和 と 安 全 の た め に 活 動 し て い る か ら	へ 大 規 模 災 害 な ど 各 種 事 務 に 関 与 し て い る か ら	マ ス コ ミ な ど の 話 題 に な る こ と が 多 い か ら	か 国 民 の 税 金 を 使 っ て い る か ら	無 回 答
	人	%	%	%	%	%	%
総数	1,253	28.9	10.3	53.1	1.6	3.8	2.3
〔都市規模〕							
大都市	339	31.0	9.4	51.3	2.4	2.9	2.9
東京都	77	32.5	7.8	48.1	2.6	7.8	1.3
政令指定都市	262	30.5	9.9	52.3	2.3	1.5	3.4
中都市	513	28.8	11.5	51.3	1.9	4.7	1.8
小都市	295	28.5	8.5	56.9	0.7	3.1	2.4
町	106	23.6	12.3	56.6	-	4.7	2.8
〔性別〕							
男性	622	36.7	10.5	46.0	1.0	3.9	2.1
女性	631	21.2	10.1	60.1	2.2	3.8	2.5
〔年齢〕							
18～29歳	88	29.5	8.0	52.3	4.5	3.4	2.3
30～39歳	106	31.1	4.7	54.7	3.8	2.8	2.8
40～49歳	174	27.0	9.2	51.7	1.1	6.9	4.0
50～59歳	227	28.6	11.0	53.3	1.8	3.5	1.8
60～69歳	267	29.6	9.7	52.8	1.1	4.1	2.6
70歳以上	391	28.6	12.8	53.5	0.8	2.8	1.5

表2 - 参考 自衛隊に関心がある理由

(自衛隊について「非常に関心がある」、「ある程度関心がある」と答えた者に)

	該 当 者 数	組 日 本 の 平 和 と 独 立 を 守 る た め に 活 動 し て い る か ら	た め に 国 際 社 会 の 平 和 と 安 全 の た め に 活 動 し て い る か ら	か ら へ 大 規 模 災 害 な ど 各 種 事 務 に 関 与 し て い る か ら	マ ス コ ミ な ど の 話 題 に な る こ と が 多 い か ら	か 国 民 の 税 金 を 使 っ て い る か ら	自 衛 隊 は 必 要 な い か ら	そ の 他	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
平成30年1月調査	1,133	32.2	18.9	41.7	2.5	2.3	0.9	1.1	0.4

(注1)平成30年1月調査では、「その理由は何ですか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注2)平成30年1月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(イ) 自衛隊に関心がない理由

(問1で「あまり関心がない」、「全く関心がない」と答えた者に)
 問3. 自衛隊に関心がない理由は何ですか。(は1つ)

令和4年11月

- ・差し迫った軍事的脅威が存在しないから 22.0%
- ・自衛隊は必要ないから 1.2%
- ・自分の生活に関係ないから 33.4%
- ・自衛隊についてよくわからないから 41.8%

(自衛隊について「あまり関心がない」、「全く関心がない」と答えた者に)

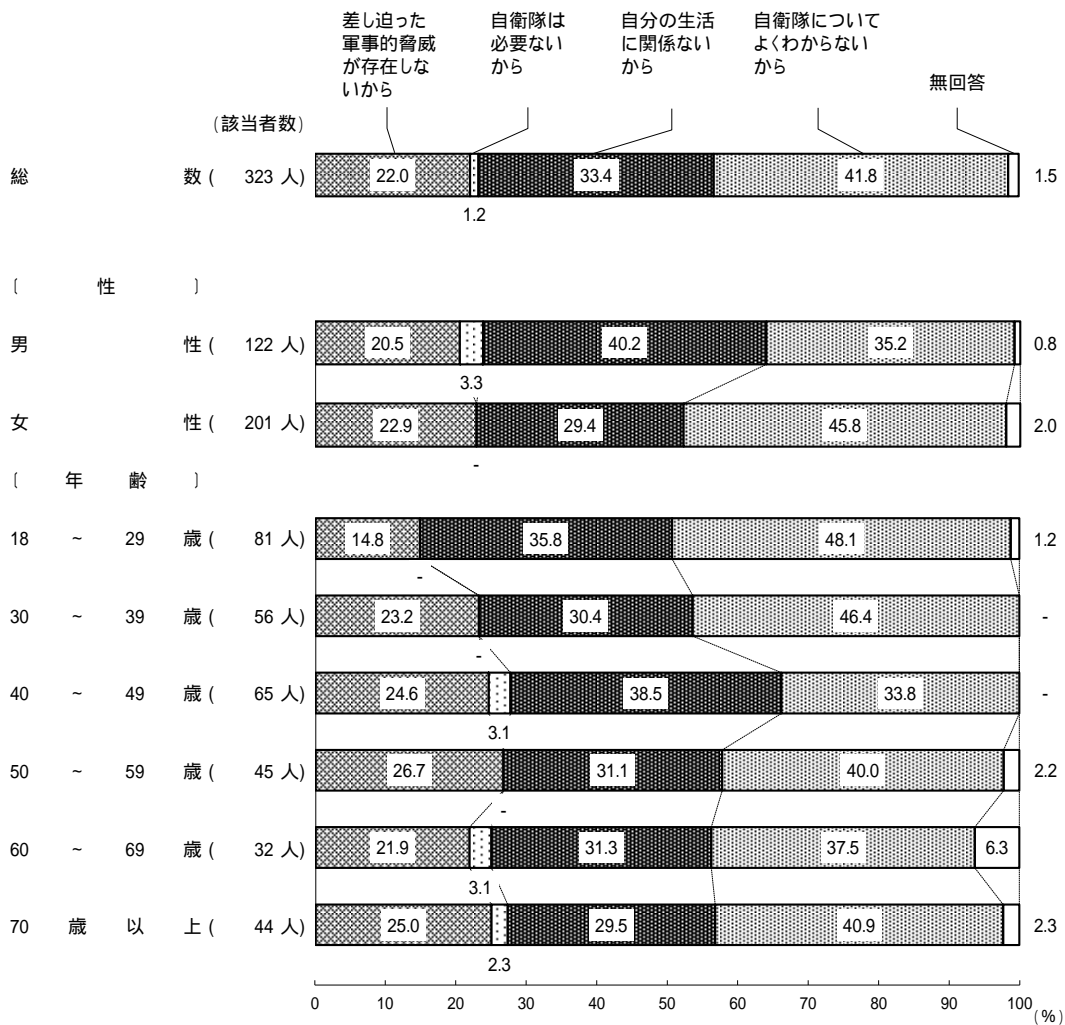


表3 自衛隊に関心がない理由

(自衛隊について「あまり関心がない」、「全く関心がない」と答えた者に)

	該 当 者 数	在 差 し な い か ら の 軍 事 的 脅 威 が 存 在 す る か	自 衛 隊 は 必 要 な い か ら	自 分 の 生 活 に 関 係 な い か ら	自 衛 隊 に つ い て よ く わ か ら ない か ら	無 回 答
	人	%	%	%	%	%
総数	323	22.0	1.2	33.4	41.8	1.5
〔都市規模〕						
大都市	79	25.3	-	26.6	46.8	1.3
東京都区部	17	23.5	-	35.3	41.2	-
政令指定都市	62	25.8	-	24.2	48.4	1.6
中都市	146	21.2	2.7	35.6	39.7	0.7
小都市	72	15.3	-	38.9	41.7	4.2
町	26	34.6	-	26.9	38.5	-
〔性〕						
男性	122	20.5	3.3	40.2	35.2	0.8
女性	201	22.9	-	29.4	45.8	2.0
〔年齢〕						
18～29歳	81	14.8	-	35.8	48.1	1.2
30～39歳	56	23.2	-	30.4	46.4	-
40～49歳	65	24.6	3.1	38.5	33.8	-
50～59歳	45	26.7	-	31.1	40.0	2.2
60～69歳	32	21.9	3.1	31.3	37.5	6.3
70歳以上	44	25.0	2.3	29.5	40.9	2.3

表3 - 参考 自衛隊に関心がない理由

(自衛隊について「あまり関心がない」、「全く関心がない」と答えた者に)

	該 当 者 数	在 差 し な い か ら の 軍 事 的 脅 威 が 存 在 す る か	自 衛 隊 は 必 要 な い か ら	自 分 の 生 活 に 関 係 な い か ら	自 衛 隊 に つ い て よ く わ か ら ない か ら	そ の 他	わ か ら ない
	人	%	%	%	%	%	%
平成30年1月調査	524	16.4	1.9	39.1	37.6	1.5	3.4

(注1) 平成30年1月調査では、「その理由は何ですか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注2) 平成30年1月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

2 自衛隊に対する印象について

(1) 自衛隊に対する印象

問4. あなたは、自衛隊に対してどのような印象を持っていますか。(は1つ)

令和4年11月

良い印象を持っている(小計)

90.8%

・良い印象を持っている

32.3%

・どちらかといえば良い印象を持っている

58.5%

悪い印象を持っている(小計)

5.0%

・どちらかといえば悪い印象を持っている

4.4%

・悪い印象を持っている

0.6%

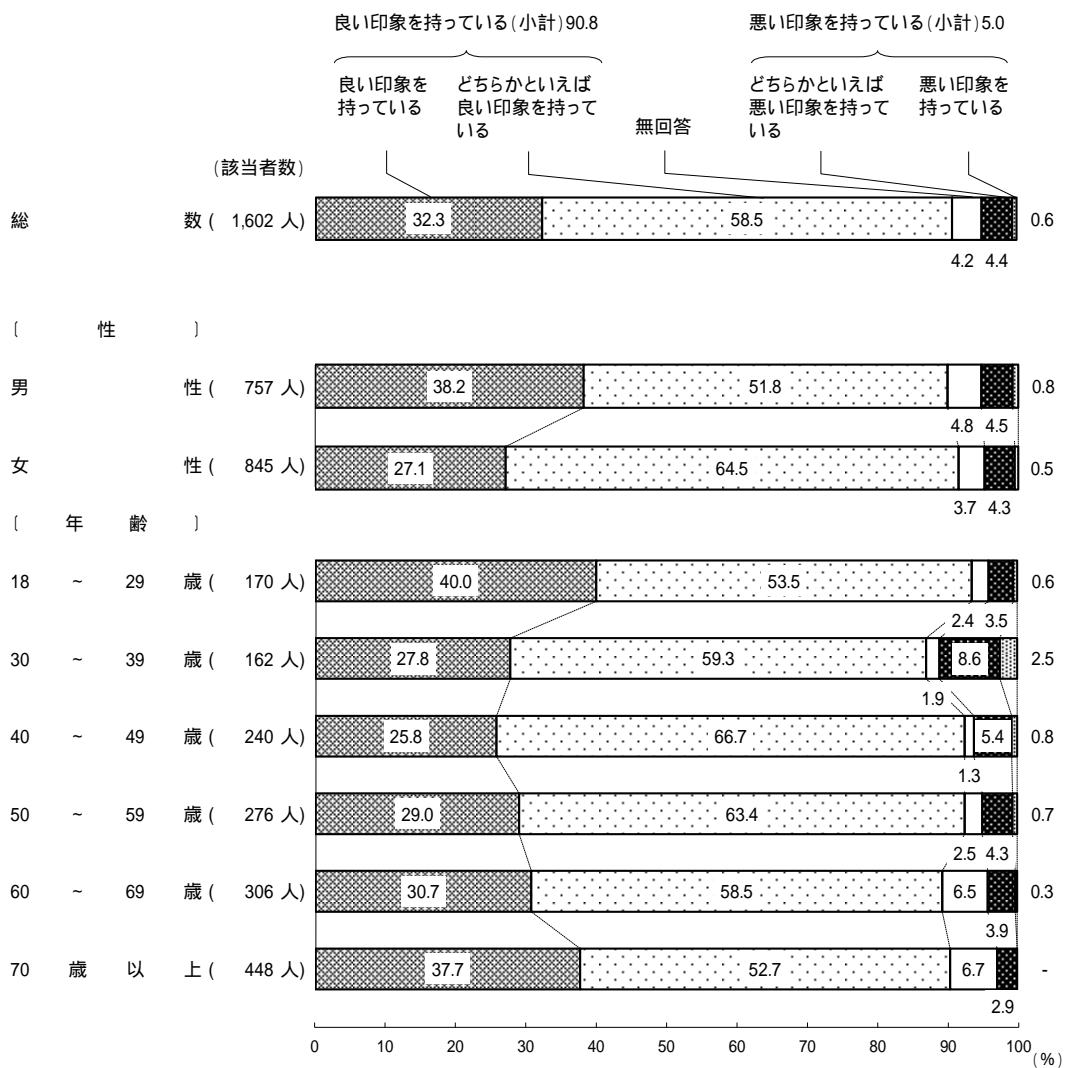


表4 自衛隊に対する印象

	該 当 者 数	良い 印象を 持つ ている (小計)	良い印象を持つ ている		どちらか といえ ば良い 印象を 持つ ている	悪い 印象を 持つ ている (小計)	悪い印象を持つ ている		無 回 答
			%	%	%		%	%	
総数	1,602	90.8	32.3	58.5	5.0	4.4	0.6	4.2	
〔都市規模〕									
大都市	427	91.6	31.4	60.2	4.9	4.7	0.2	3.5	
東京都	96	88.5	30.2	58.3	7.3	6.3	1.0	4.2	
政令指定都市	331	92.4	31.7	60.7	4.2	4.2	-	3.3	
中都市	669	89.8	32.6	57.2	5.7	4.9	0.7	4.5	
小都市	371	91.6	32.3	59.3	4.3	3.5	0.8	4.0	
町	135	91.1	34.1	57.0	3.7	3.0	0.7	5.2	
〔性〕									
男性	757	90.0	38.2	51.8	5.3	4.5	0.8	4.8	
女性	845	91.6	27.1	64.5	4.7	4.3	0.5	3.7	
〔年齢〕									
18～29歳	170	93.5	40.0	53.5	4.1	3.5	0.6	2.4	
30～39歳	162	87.0	27.8	59.3	11.1	8.6	2.5	1.9	
40～49歳	240	92.5	25.8	66.7	6.3	5.4	0.8	1.3	
50～59歳	276	92.4	29.0	63.4	5.1	4.3	0.7	2.5	
60～69歳	306	89.2	30.7	58.5	4.2	3.9	0.3	6.5	
70歳以上	448	90.4	37.7	52.7	2.9	2.9	-	6.7	

表4 - 参考 自衛隊に対する印象

	該 当 者 数	良い 印象を 持つ ている (小計)	良い印象を持つ ている		どちらか といえ ば良い 印象を 持つ ている	悪い 印象を 持つ ている (小計)	悪い印象を持つ ている		わ か ら ない
			%	%	%		%	%	
平成21年1月調査	1,781	80.9	19.5	61.4	14.1	12.3	1.9	5.0	
平成24年1月調査	1,893	91.7	37.5	54.2	5.3	4.5	0.8	3.0	
平成27年1月調査	1,680	92.2	41.4	50.8	4.8	4.1	0.7	3.0	
平成30年1月調査 (うち20歳以上)	1,644	89.7	36.6	53.1	5.7	5.0	0.7	4.6	
平成30年1月調査	1,671	89.8	36.7	53.0	5.6	4.9	0.7	4.7	

(注1)平成30年1月調査までは、「全般的に見てあなたは自衛隊に対して良い印象を持っていますか、それとも悪い印象を持っていますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注2)平成30年1月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

3 自衛隊の規模について
 (1) 自衛隊の規模の考え

(別添資料1を提示して)

問5. あなたは、自衛隊の規模をどのようにした方がよいと思いますか。(は1つ)

令和4年11月

- ・ 増強した方がよい 41.5%
- ・ 今の程度でよい 53.0%
- ・ 縮小した方がよい 3.6%

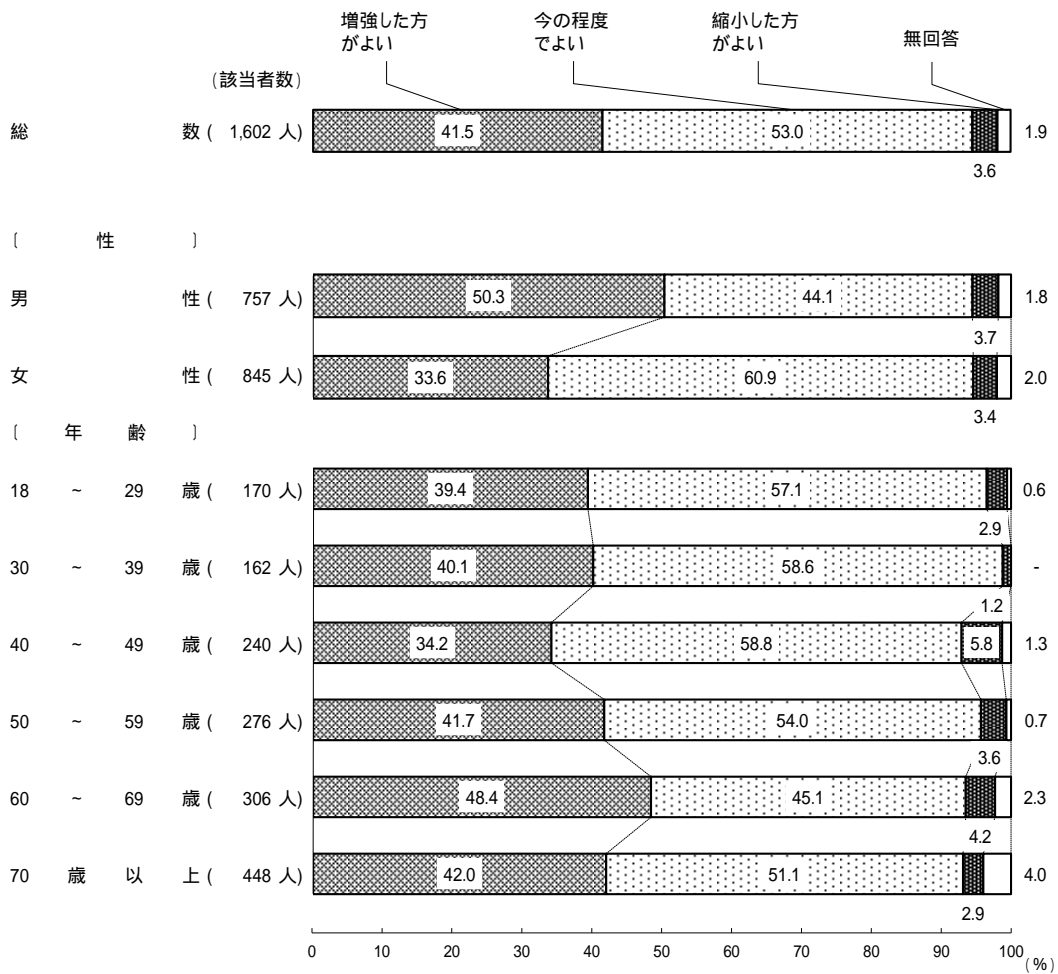


表5 自衛隊の規模の考え

	該 当 者 数	増 強 し た 方 が よ い	今 の 程 度 で よ い	縮 小 し た 方 が よ い	無 回 答
	人	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	1,602	41.5	53.0	3.6	1.9
大 都 市	427	43.1	50.1	4.2	2.6
東 京 都 区 部	96	38.5	52.1	8.3	1.0
政 令 指 定 都 市	331	44.4	49.5	3.0	3.0
中 都 市	669	43.0	51.7	3.9	1.3
小 都 市	371	39.9	55.5	2.2	2.4
町 村	135	33.3	61.5	3.7	1.5
〔性〕					
男 性	757	50.3	44.1	3.7	1.8
女 性	845	33.6	60.9	3.4	2.0
〔年 齢〕					
18 ~ 29 歳	170	39.4	57.1	2.9	0.6
30 ~ 39 歳	162	40.1	58.6	1.2	-
40 ~ 49 歳	240	34.2	58.8	5.8	1.3
50 ~ 59 歳	276	41.7	54.0	3.6	0.7
60 ~ 69 歳	306	48.4	45.1	4.2	2.3
70 歳 以 上	448	42.0	51.1	2.9	4.0

表5 - 参考 自衛隊の防衛力

	該 当 者 数	増 強 し た 方 が よ い	今 の 程 度 で よ い	縮 小 し た 方 が よ い (注1)	わ か ら な い
	人	%	%	%	%
平成3年2月調査	2,156	7.7	62.1	20.0	10.3
平成6年1月調査	2,082	6.3	66.2	15.3	12.1
平成9年2月調査	2,114	7.5	64.3	15.5	12.8
平成12年1月調査	3,461	13.5	66.1	8.7	11.6
平成15年1月調査	2,126	15.8	61.8	8.4	14.1
平成18年2月調査	1,657	16.5	65.7	9.4	8.3
平成21年1月調査	1,781	14.1	65.1	10.7	10.1
平成24年1月調査	1,893	24.8	60.0	6.2	9.0
平成27年1月調査	1,680	29.9	59.2	4.6	6.3
平成30年1月調査 (うち20歳以上)	1,644	29.1	60.3	4.4	6.2
平成30年1月調査	1,671	29.1	60.1	4.5	6.2

(注1) 平成3年2月調査では、「今より少なくてよい」となっている。

(注2) 平成3年2月調査では、「それでは、全般的に見て日本の自衛隊はもっと増強した方がよいと思いますか、今の程度でよいと思いますか、それとも今より少なくてよいと思いますか。」と聞いている。

(注3) 平成9年2月調査までは、「それでは、全般的に見て日本の自衛隊は増強した方がよいと思いますか、今の程度でよいと思いますか、それとも縮小した方がよいと思いますか。」と聞いている。

(注4) 平成24年1月調査までは、「全般的に見て日本の自衛隊は増強した方がよいと思いますか、今の程度でよいと思いますか、それとも縮小した方がよいと思いますか。」と聞いている。

(注5) 平成30年1月調査までは、「全般的に見て日本の自衛隊は増強した方がよいと思いますか、今の程度でよいと思いますか、それとも縮小した方がよいと思いますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注6) 平成30年1月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

〔別添〕

全員の方が【資料1】を読んでから下の問5にお答えください

【資料1】

わが国周辺における主な兵力の状況（概数）

国と地域		陸上兵力 (人数)	海上兵力 (艦艇トン数)	航空兵力 (作戦機数)
日	本	14万人	51万t	360機
韓	国	42万人 海兵隊 2.9万人	28万t	660機
北	朝鮮	110万人	11万t	550機
中	国	97万人 海兵隊 4万人	224万t	3,030機
台	湾	9.4万人 海兵隊 1万人	20.5万t	520機
極	東ロシア	8万人	61万t	320機
米	在日米軍	2万人		150機
	米第7艦隊		40万t	50機
	在韓米軍	2万人		80機

- (注) 1 資料は、米国防省公表資料、「ミリタリーバランス(2022)」、「SIPRI Yearbook 2021」などによる。
- 2 日本については2021年度末における各自衛隊の実勢力を示し、作戦機数は空自の作戦機（輸送機を除く）及び海自の作戦機（固定翼機のみ）の合計である。
- 3 在日・在韓駐留米軍の陸上兵力は、陸軍および海兵隊の総数を示す。
- 4 作戦機については、海軍及び海兵隊機を含む。
- 5 米第7艦隊については、日本及びグアムに前方展開している兵力を示す。
- 6 在日米軍及び米第7艦隊の作戦機数については戦闘機のみ。

4 自衛隊の役割と活動について

(1) 自衛隊に期待する役割

問6. あなたは、自衛隊にどのような役割を期待しますか。(はいくつでも)

(上位4項目)

令和4年11月

- ・ 災害の時の救援活動や緊急の患者輸送などの災害派遣 88.3%
- ・ 周辺海空域における安全確保、島々に対する攻撃への対応など国の安全の確保 78.3%
- ・ 住民の避難など、日本が武力攻撃を受けた時の国民の保護 77.7%
- ・ 弾道ミサイル攻撃への対応 55.7%

(複数回答)

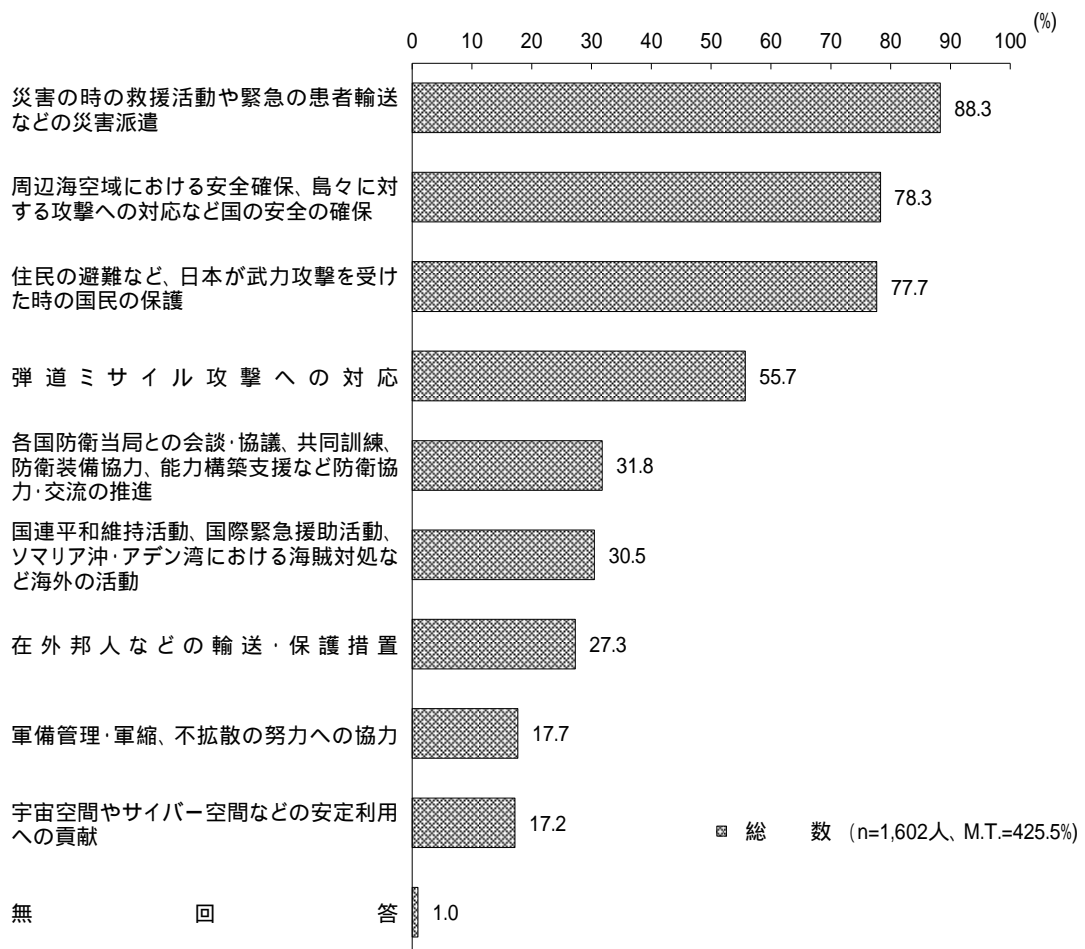


表6 自衛隊に期待する役割

(複数回答)

	該 当 者 数	災害の時の救援活動や緊急の患者 輸送などの災害派遣	周辺海空域における安全確保、 島々に対する攻撃への対応など国 の安全の確保	住民の避難など、日本が武力攻撃 を受けた時の国民の保護	弾道ミサイル攻撃への対応	同訓練、防衛装備協力、能力構築 支援など防衛協力・交流の推進	各国防衛当局との会談・協議・共 同訓練、防衛装備協力、能力構築 支援など防衛協力・交流の推進	活動、ソマリア沖・アデン湾にお ける海賊対処など海外の活動	国連平和維持活動、国際緊急援助 活動、ソマリア沖・アデン湾にお ける海賊対処など海外の活動	在外邦人などの輸送・保護措置	軍備管理・軍縮、不拡散の努力へ の協力	宇宙空間やサイバー空間などの安 定利用への貢献	無 回 答	計 (M.T.)
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	1,602	88.3	78.3	77.7	55.7	31.8	30.5	27.3	17.7	17.2	1.0	425.5		
大 都 市 部	427	87.4	78.9	80.1	60.0	34.9	32.1	31.1	24.1	21.5	1.6	451.8		
東 京 都 区	96	92.7	78.1	81.3	59.4	37.5	30.2	38.5	22.9	24.0	-	464.6		
政 令 指 定 都 市	331	85.8	79.2	79.8	60.1	34.1	32.6	29.0	24.5	20.8	2.1	448.0		
中 都 市	669	87.7	76.5	74.3	54.9	30.6	30.0	27.1	16.4	14.8	0.9	413.3		
小 都 市	371	88.4	79.8	81.4	52.8	29.9	29.4	22.9	13.5	15.4	0.8	414.3		
町 村	135	94.1	80.7	76.3	54.1	33.3	30.4	28.9	14.8	20.7	-	433.3		
〔性〕														
男	757	85.2	82.0	77.0	58.5	36.3	33.0	29.5	18.8	19.9	1.2	441.5		
女	845	91.1	74.9	78.2	53.1	27.8	28.2	25.4	16.7	14.8	0.8	411.1		
〔年齢〕														
18 ~ 29 歳	170	85.3	76.5	74.7	59.4	27.6	23.5	17.6	15.3	12.4	0.6	392.9		
30 ~ 39 歳	162	87.0	81.5	82.1	66.7	32.7	22.2	24.1	19.8	15.4	-	431.5		
40 ~ 49 歳	240	91.7	78.3	77.5	61.3	32.9	26.7	26.3	18.3	17.1	1.3	431.3		
50 ~ 59 歳	276	92.0	81.5	80.1	54.0	28.3	30.4	27.9	14.5	15.6	0.4	424.6		
60 ~ 69 歳	306	90.2	80.7	78.4	55.9	30.4	30.1	28.1	18.0	17.3	0.7	429.7		
70 歳 以上	448	84.6	74.1	75.2	48.2	35.7	38.4	31.9	19.2	20.8	2.0	430.1		

表6 - 参考 自衛隊に期待する役割

		(複数回答)																
平成30年1月調査	人数	79.2	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	該当者数	79.2	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	動員や派遣の緊急事態の対応など	79.2	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	対する攻撃への対応(周辺海空域に)	60.9	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	国内の治安維持	49.8	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	弾道ミサイル攻撃への対応	40.2	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	活動(国際連帯PKOや国際緊急援助隊など)	34.8	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	民生協力(土木工事の支援など)	26.0	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	在外邦人の保護	21.0	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	国防衛協力の推進(会談・防衛協力の推進など)	20.8	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	サイバー空間の攻撃への対応	18.2	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	サイバー空間の攻撃への対応	18.2	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	海賊行為の防止(ソマリア沖・インド洋)	17.3	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	海賊行為の防止(ソマリア沖・インド洋)	17.3	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	力軍への協力の不拡散の努力	14.8	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	能力向上(安全確保)の取組	13.2	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	能力向上(安全確保)の取組	13.2	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	宇宙空間の安定利用への貢献	7.5	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	宇宙空間の安定利用への貢献	7.5	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	その他	0.1	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	その他	0.1	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	特にな	2.2	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	特にな	2.2	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	わか	1.7	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	わか	1.7	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7
	計(M.T.)	407.7	60.9	49.8	40.2	34.8	26.0	21.0	20.8	18.2	17.3	14.8	13.2	7.5	0.1	2.2	1.7	407.7

(注1)平成30年1月調査では、「あなたは、自衛隊にどのような役割を期待しますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2)平成30年1月調査では、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(2) 自衛隊の海外での活動の今後の取組の考え

(別添資料2を提示して)

問7. あなたは、国連平和維持活動への参加や国際緊急援助活動など、自衛隊の海外での活動について、今後、自衛隊はどのように取り組んでいくべきだと思いますか。(は1つ)

令和4年11月

- ・これまで以上に積極的に取り組むべきである 20.0%
- ・現状の取り組みを維持すべきである 68.1%
- ・これまでの取り組みから縮小すべきである 7.5%
- ・取り組むべきでない 1.4%

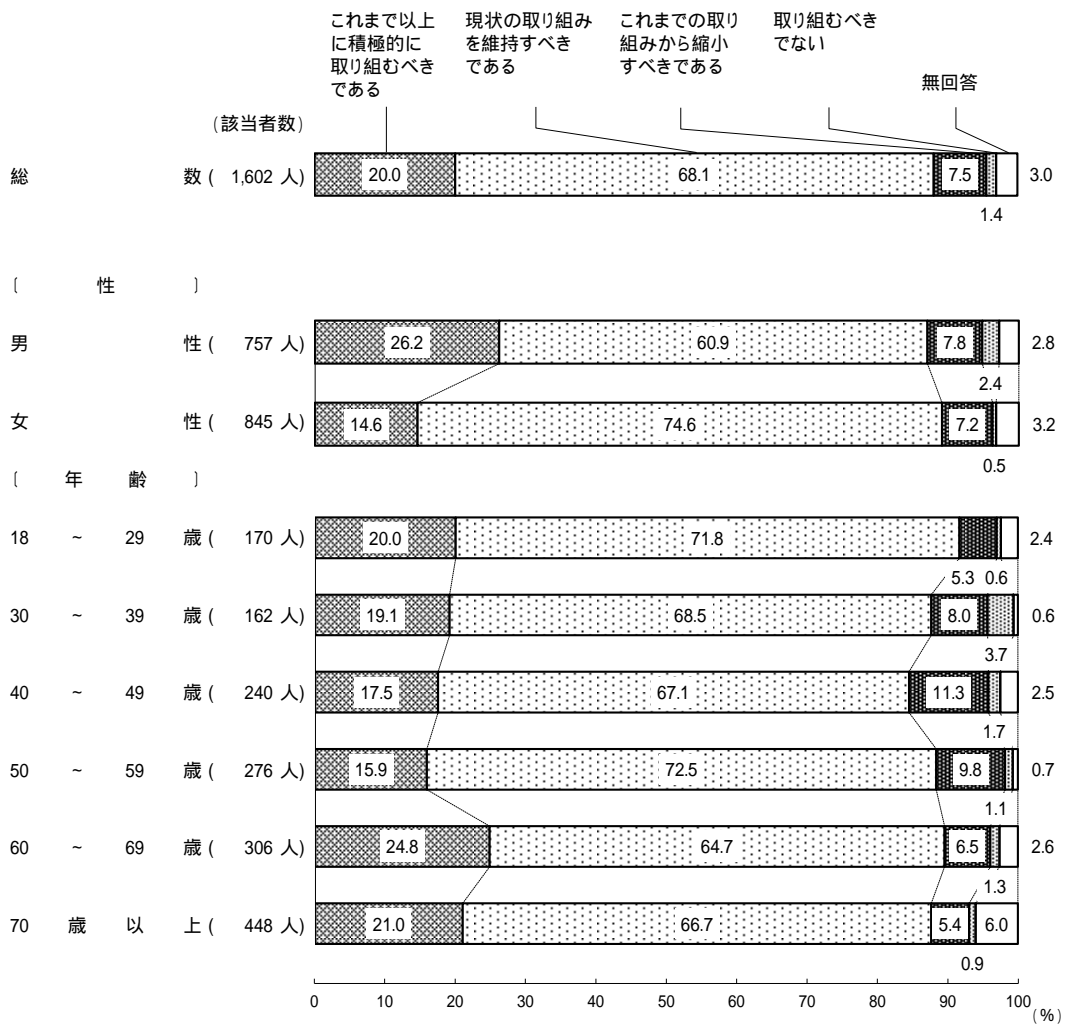


表7 自衛隊の海外での活動の今後の取組の考え

	該 当 者 数	取 り 組 む べ き で あ る こ れ ま で 以 上 に 積 極 的 に	現 状 の 取 り 組 み を 維 持 す べ き で あ る	縮 小 す べ き で あ る こ れ ま で の 取 り 組 み か ら	取 り 組 む べ き で な い	無 回 答
	人	%	%	%	%	%
総 〔都 市規 模〕	1,602	20.0	68.1	7.5	1.4	3.0
大 都 市	427	21.3	65.8	8.0	1.2	3.7
東 京 都 区 部	96	27.1	53.1	15.6	3.1	1.0
政 令 指 定 都 市	331	19.6	69.5	5.7	0.6	4.5
中 都 市	669	19.1	68.3	7.6	1.6	3.3
小 都 市	371	20.5	69.5	7.0	1.1	1.9
町 村	135	19.3	70.4	6.7	1.5	2.2
〔性〕						
男 性	757	26.2	60.9	7.8	2.4	2.8
女 性	845	14.6	74.6	7.2	0.5	3.2
〔年 齢〕						
18 ～ 29 歳	170	20.0	71.8	5.3	0.6	2.4
30 ～ 39 歳	162	19.1	68.5	8.0	3.7	0.6
40 ～ 49 歳	240	17.5	67.1	11.3	1.7	2.5
50 ～ 59 歳	276	15.9	72.5	9.8	1.1	0.7
60 ～ 69 歳	306	24.8	64.7	6.5	1.3	2.6
70 歳 以 上	448	21.0	66.7	5.4	0.9	6.0

表7 - 参考 国際平和協力活動への取組

	該 当 者 数	取 り 組 む べ き で あ る こ れ ま で 以 上 に 積 極 的 に	現 状 の 取 り 組 み を 維 持 す べ き で あ る	縮 小 す べ き で あ る こ れ ま で の 取 り 組 み か ら	取 り 組 む べ き で な い	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%
平 成 24 年 1 月 調 査	1,893	28.1	61.3	4.8	0.9	5.0
平 成 27 年 1 月 調 査	1,680	25.9	65.4	4.6	1.0	3.0
平 成 30 年 1 月 調 査 (うち 20 歳 以上)	1,644	20.6	66.8	5.4	1.7	5.5
平 成 30 年 1 月 調 査	1,671	20.6	66.8	5.3	1.7	5.6

(注1)平成24年1月調査では、「自衛隊による国連PKOへの参加や国際緊急援助活動などの『国際平和協力活動』について、どのように取り組んでいくべきだと思いますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注2)平成30年1月調査までは、「あなたは、自衛隊による国連PKOへの参加や国際緊急援助活動などの『国際平和協力活動』について、今後、どのように取り組んでいくべきだと思いますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注3)平成30年1月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

〔別添〕

全員の方が【資料2】を読んでから下の問7にお答えください

【資料2】

1991年以降、これまで自衛隊が取り組んできた海外での活動には、2022年8月現在、次のようなものがあります。

国際平和協力業務

国連平和維持活動として、
カンボジア、ゴラン高原、ハイチ、東ティモール、南スーダンなどにおける9件の国連平和維持活動を実施。

人道的な国際救援活動として、
ルワンダ難民救援、東ティモール避難民救援、ウクライナ被災民救援などの6件の活動を実施。

国際連携平和安全活動として、
シナイ半島における「多国籍部隊・監視団」で活動を実施。

国際緊急援助活動

ホンジュラスのハリケーン災害、インドネシアの地震災害、フィリピンの台風災害、オーストラリアの森林火災災害、トンガ王国の火山災害などにおける24件の国際緊急援助隊法に基づく活動を実施。

その他の活動

ペルシャ湾への掃海部隊派遣、イラクにおける人道復興支援活動、インド洋における補給支援活動、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処、中東地域における日本関係船舶の安全確保に必要な活動を実施。

5 身近な人が自衛隊員になることについて

(1) 身近な人が自衛隊員になることの賛否

問8. あなたは、もし身近な人が自衛隊員になりたいと言ったら、賛成しますか、反対しますか。
(○は1つ)

令和4年11月

賛成(小計)

- ・賛成
- ・どちらかといえば賛成

68.7%

反対(小計)

- ・どちらかといえば反対
- ・反対

29.5%

25.0%

4.5%

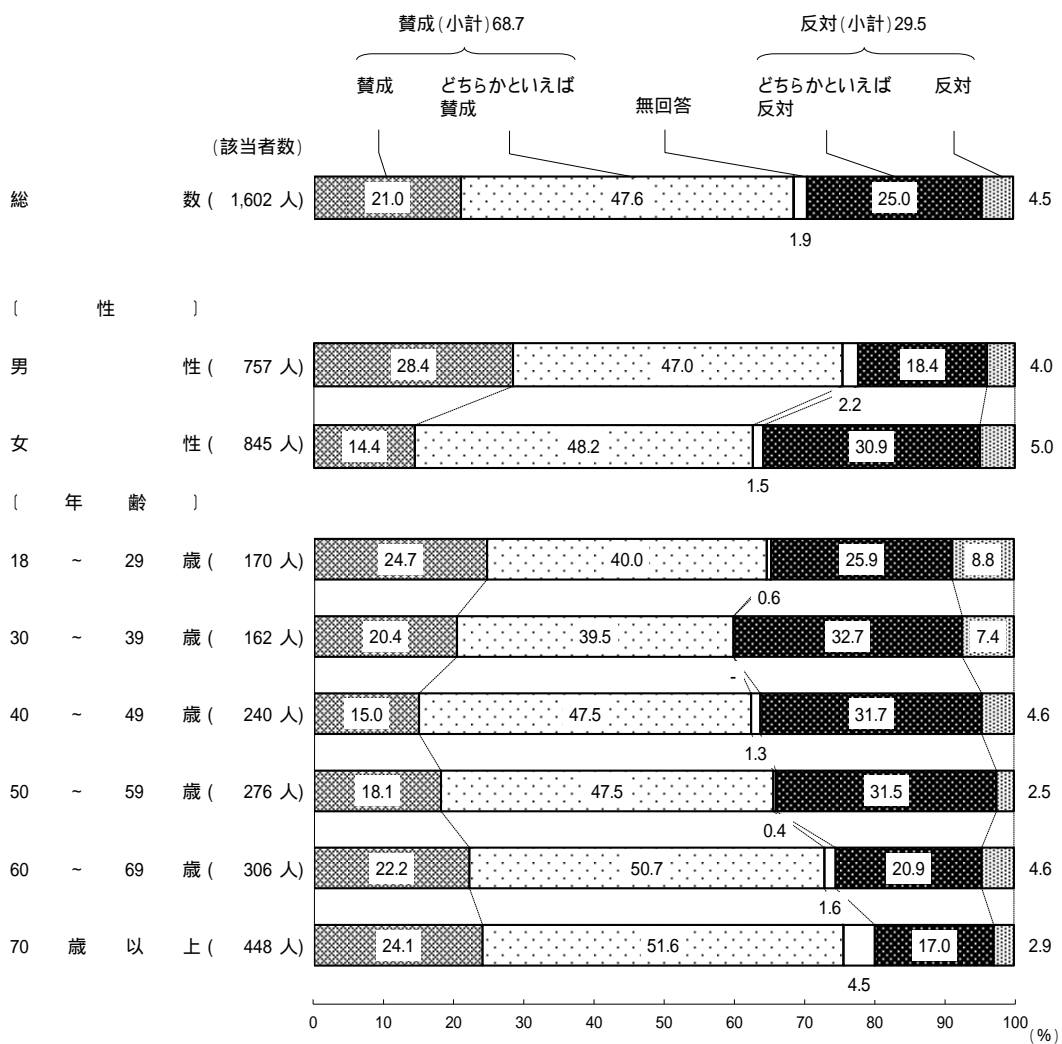


表8 身近な人が自衛隊員になることの賛否

	該 当 者 数	賛			反			無 回 答
		(小計) 成	賛 成	ど ち ら か と い え ば 賛 成	(小計) 対	ど ち ら か と い え ば 反 対	反 対	
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,602	68.7	21.0	47.6	29.5	25.0	4.5	1.9
〔都市規模〕								
大都市	427	65.3	19.2	46.1	31.6	27.9	3.7	3.0
東京都区部	96	66.7	20.8	45.8	31.3	28.1	3.1	2.1
政令指定都市	331	65.0	18.7	46.2	31.7	27.8	3.9	3.3
中都市	669	67.7	21.7	46.0	30.8	25.1	5.7	1.5
小都市	371	73.9	22.9	50.9	25.1	21.3	3.8	1.1
町	135	69.6	18.5	51.1	28.1	25.2	3.0	2.2
〔性〕								
男性	757	75.4	28.4	47.0	22.3	18.4	4.0	2.2
女性	845	62.6	14.4	48.2	35.9	30.9	5.0	1.5
〔年齢〕								
18～29歳	170	64.7	24.7	40.0	34.7	25.9	8.8	0.6
30～39歳	162	59.9	20.4	39.5	40.1	32.7	7.4	-
40～49歳	240	62.5	15.0	47.5	36.3	31.7	4.6	1.3
50～59歳	276	65.6	18.1	47.5	34.1	31.5	2.5	0.4
60～69歳	306	72.9	22.2	50.7	25.5	20.9	4.6	1.6
70歳以上	448	75.7	24.1	51.6	19.9	17.0	2.9	4.5

表8 - 参考 身近な人が自衛隊員になることの賛否

	該 当 者 数	賛			反			ど ち ら と も い え な い	わ か ら な い
		(小計) 成	賛 成	ど ち ら か と い え ば 賛 成	(小計) 対	ど ち ら か と い え ば 反 対	反 対		
	人	%	%	%	%	%	%	%	
平成21年1月調査	1,781	64.7	31.7	33.0	23.9	16.2	7.7	9.4	2.0
平成24年1月調査	1,893	72.5	31.9	40.6	19.2	14.8	4.3		8.3
平成27年1月調査	1,680	70.4	27.9	42.6	23.0	17.0	6.0		6.6
平成30年1月調査 (うち20歳以上)	1,644	62.4	23.8	38.6	29.4	21.7	7.8		8.2
平成30年1月調査	1,671	62.4	23.7	38.7	29.4	21.6	7.8		8.1

(注1)平成30年1月調査までは、「もし身近な人が自衛隊員になりたいと言ったら、あなたは賛成しますか、反対しますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注2)平成30年1月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(ア) 自衛隊員になることに賛成する理由

(問8で「賛成」、「どちらかといえば賛成」と答えた者に)

問9. 自衛隊員になることに賛成する理由は何ですか。(〇はいくつでも)

(上位4項目)
令和4年11月

- ・日本の平和と独立を守るという誇りのある仕事だから 65.6%
- ・立派な仕事のひとつだから 55.2%
- ・国際社会の平和と安全に役立つ仕事だから 50.7%
- ・自衛隊がなくては困るから 34.2%

(身近な人が自衛隊員になりたいと言ったら「賛成」、
「どちらかといえば賛成」と答えた者に、複数回答)

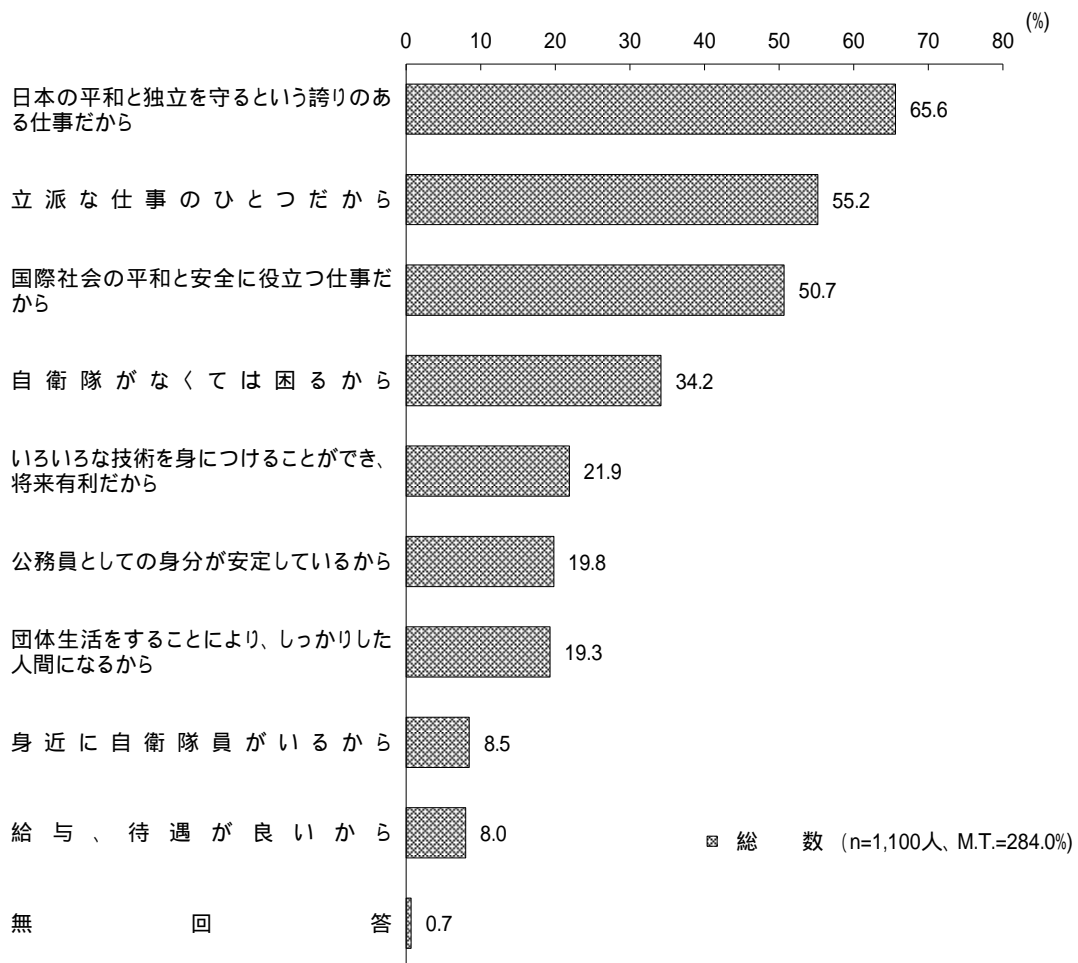


表9 自衛隊員になることに賛成する理由

（身近な人が自衛隊員になりたいと言ったら「賛成」、
「どちらかといえば賛成」と答えた者に、複数回答）

	該 当 者 数	日 本 の 平 和 と 独 立 を 守 る と	立 派 な 職 業 の 一 つ だ か ら	国 際 社 会 の 平 和 と 安 全 に 役 立 つ 仕 事 だ か ら	自 衛 隊 が な く て は 困 る か ら	い ろ い ろ な 技 術 を 身 に つ け る こ と が で き 、 将 来 有 利 だ か ら	公 務 員 と し て の 身 分 が 安 定 し て い る か ら	身 近 に 自 衛 隊 員 が い る か ら	給 与 、 待 遇 が 良 い か ら	無 回 答	計 (M.T.)	
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
総数	1,100	65.6	55.2	50.7	34.2	21.9	19.8	19.3	8.5	8.0	0.7	284.0
〔都市規模〕												
大都市	279	68.5	52.0	54.8	38.7	19.0	18.3	15.8	7.5	7.5	0.4	282.4
東京都	64	71.9	57.8	53.1	45.3	17.2	23.4	17.2	12.5	9.4	-	307.8
政令指定都市	215	67.4	50.2	55.3	36.7	19.5	16.7	15.3	6.0	7.0	0.5	274.9
中都市	453	64.5	59.6	47.2	29.4	20.5	20.1	18.3	8.2	8.6	0.9	277.3
小都市	274	64.6	51.5	49.6	36.1	23.7	19.3	20.8	8.8	6.9	1.1	282.5
町	94	66.0	54.3	58.5	38.3	31.9	24.5	29.8	12.8	9.6	-	325.5
〔性〕												
男性	571	68.5	53.2	49.9	34.2	21.5	18.0	20.7	6.8	7.5	0.9	281.3
女性	529	62.6	57.3	51.6	34.2	22.3	21.7	17.8	10.4	8.5	0.6	287.0
〔年齢〕												
18～29歳	110	49.1	66.4	40.0	35.5	14.5	23.6	8.2	8.2	5.5	0.9	251.8
30～39歳	97	57.7	66.0	41.2	26.8	17.5	25.8	10.3	6.2	18.6	1.0	271.1
40～49歳	150	54.0	66.7	38.0	23.3	29.3	32.0	14.0	8.0	13.3	-	278.7
50～59歳	181	63.5	63.5	53.6	32.0	20.4	19.3	13.3	7.2	8.8	0.6	282.3
60～69歳	223	78.9	46.6	55.2	37.7	17.9	16.1	21.5	8.5	5.8	0.4	288.8
70歳以上	339	70.8	44.5	58.1	39.5	25.7	14.2	29.5	10.3	4.4	1.2	298.2

表9 - 参考 身近な人が自衛隊員になることに賛成の理由

（身近な人が自衛隊員になりたいと言ったら「賛成する」、
「どちらかといえば賛成する」と答えた者に、複数回答）

	該 当 者 数	日 本 の 平 和 と 独 立 を 守 る と	立 派 な 職 業 の 一 つ だ か ら	事 た か ら	国 際 社 会 の 安 定 に 役 立 つ 仕 事 だ か ら	自 衛 隊 が な く て は 困 る か ら	い ろ い ろ な 技 術 を 身 に つ け る こ と が で き 、 将 来 有 利 だ か ら	公 務 員 と し て の 身 分 が 安 定 し て い る か ら	身 近 に 自 衛 隊 員 が い る か ら	給 与 、 待 遇 が 良 い か ら	縁 故 者 が い る か ら	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成21年1月調査	1,152	51.7	41.3	43.4	18.8	26.4	28.2	27.5	11.2	4.5	5.6	0.3	259.0	
平成24年1月調査	1,372	60.7	46.3	50.7	28.8	23.4	28.2	21.3	8.2	4.6	3.9	0.3	276.3	
平成27年1月調査	1,183	60.9	47.4	46.2	27.7	21.0	21.2	20.3	8.1	3.7	3.1	0.4	260.1	
平成30年1月調査 (うち20歳以上)	1,026	61.4	50.4	46.5	28.6	25.7	23.4	23.2	12.2	10.2	4.2	0.5	286.3	
平成30年1月調査	1,043	61.3	50.5	46.4	28.6	25.4	23.3	23.3	12.1	10.2	4.2	0.5	285.7	

（注1）平成30年1月調査までは、「その理由は何でしょうか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

（注2）平成30年1月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(イ) 自衛隊員になることに反対する理由

(問8で「どちらかといえば反対」、「反対」と答えた者に)

問10. 自衛隊員になることに反対する理由は何ですか。(〇はいくつでも)

(上位3項目)

令和4年11月

- ・戦争などが起こった時は危険な仕事だから 79.7%
- ・自衛隊の実情がよくわからないから 46.0%
- ・仕事が厳しそうだから 31.8%

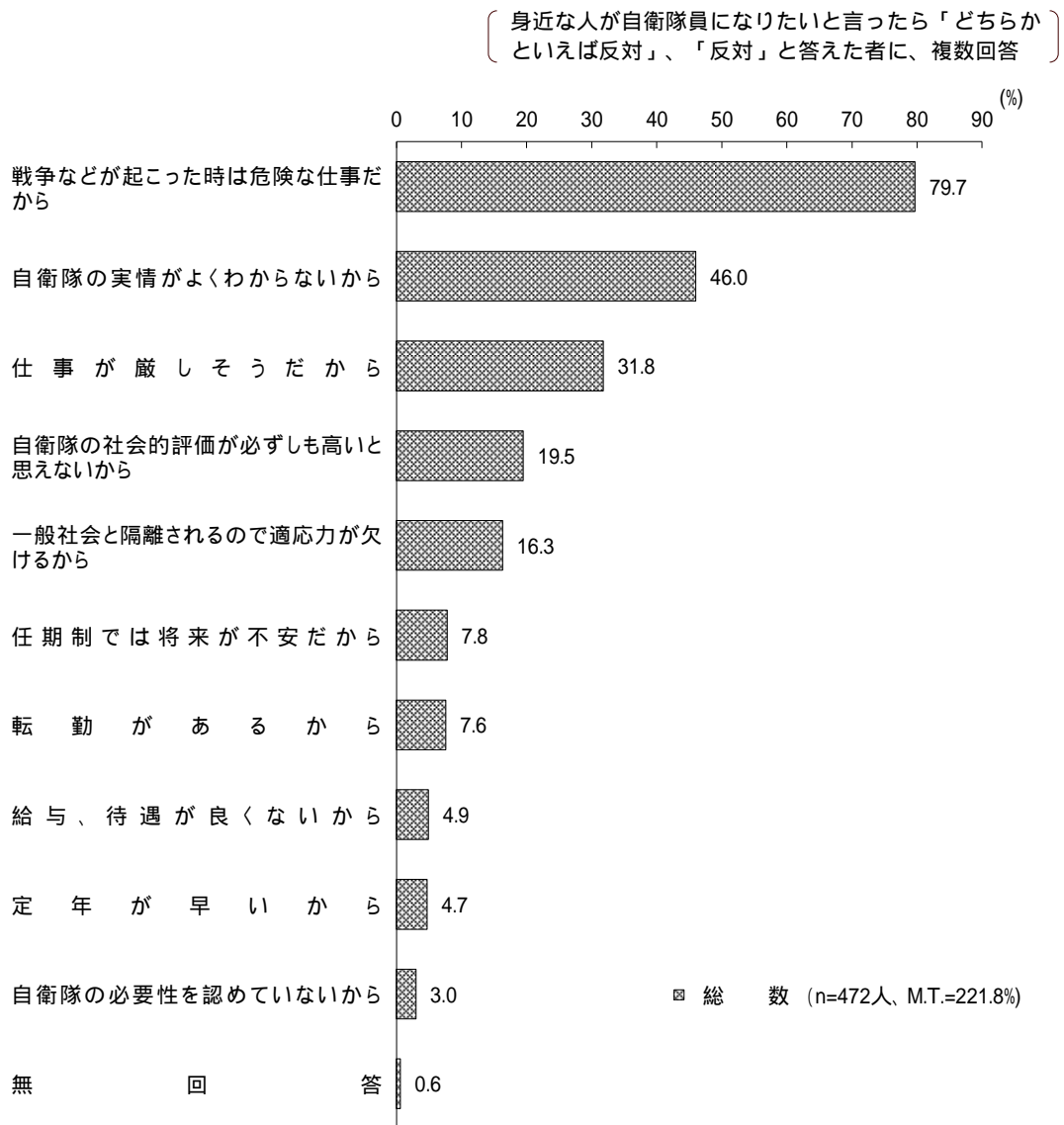


表 10 自衛隊員になることに反対する理由

〔身近な人が自衛隊員になりたいと言ったら「どちらかといえば反対」、「反対」と答えた者に、複数回答〕

	該 当 者 数	戦 争 事 が 起 こ っ た 時 は 危 険 な 事 だ か ら	自 衛 隊 の 実 情 が よ く わ か ら な い	仕 事 が 厳 し そ う だ か ら	自 衛 隊 の 社 会 的 評 価 が 必 ず し も 高 い と 思 え な い	一 般 社 会 と 隔 離 さ れ る の で 適 応 が 欠 け る	任 期 制 で は 将 来 が 不 安 だ か ら	転 勤 が あ る か ら	給 与 、 待 遇 が 良 く な い	定 年 が 早 い	自 衛 隊 の 必 要 性 を 認 め て い な い	無 回 答	計 (M.T.) %
総 〔都 市 規 模〕	472	79.7	46.0	31.8	19.5	16.3	7.8	7.6	4.9	4.7	3.0	0.6	221.8
大 都 市	135	78.5	44.4	31.9	17.0	18.5	8.1	8.9	5.2	3.0	2.2	1.5	219.3
東 京 都 区 部 市	30	70.0	46.7	40.0	13.3	16.7	6.7	3.3	-	-	-	3.3	200.0
政 令 指 定 都 市	105	81.0	43.8	29.5	18.1	19.0	8.6	10.5	6.7	3.8	2.9	1.0	224.8
中 都 市	206	78.2	45.1	29.6	19.9	15.5	7.3	7.3	5.8	5.3	2.9	0.5	217.5
小 都 市	93	81.7	53.8	31.2	22.6	11.8	6.5	8.6	4.3	4.3	5.4	-	230.1
町 村	38	86.8	36.8	44.7	18.4	23.7	13.2	2.6	-	7.9	-	-	234.2
〔性 性〕													
男 性	169	74.6	40.2	32.0	27.2	21.9	10.7	9.5	5.3	6.5	5.9	0.6	234.3
女 性	303	82.5	49.2	31.7	15.2	13.2	6.3	6.6	4.6	3.6	1.3	0.7	214.9
〔年 年 齢〕													
18 ～ 29 歳	59	84.7	32.2	40.7	8.5	5.1	3.4	15.3	8.5	1.7	1.7	-	201.7
30 ～ 39 歳	65	81.5	41.5	32.3	16.9	20.0	4.6	12.3	6.2	1.5	3.1	1.5	221.5
40 ～ 49 歳	87	78.2	49.4	35.6	20.7	14.9	5.7	9.2	9.2	9.2	1.1	-	233.3
50 ～ 59 歳	94	87.2	38.3	35.1	20.2	22.3	10.6	3.2	3.2	6.4	1.1	-	227.7
60 ～ 69 歳	78	80.8	53.8	28.2	20.5	11.5	10.3	2.6	1.3	1.3	5.1	1.3	216.7
70 歳 以 上	89	67.4	56.2	21.3	25.8	20.2	10.1	6.7	2.2	5.6	5.6	1.1	222.5

表 10 - 参考 身近な人が自衛隊員になることに反対の理由

〔身近な人が自衛隊員になりたいと言ったら「どちらかといえば反対する」、「反対する」と答えた者に、複数回答〕

	該 当 者 数	戦 争 事 が 起 こ っ た 時 は 危 険 な 事 だ か ら	自 衛 隊 の 実 情 が よ く わ か ら な い	仕 事 が 厳 し そ う だ か ら	自 衛 隊 の 社 会 的 評 価 が 必 ず し も 高 い と 思 え な い	転 勤 が あ る か ら	一 般 社 会 と 隔 離 さ れ る の で 適 応 が 欠 け る	任 期 制 で は 将 来 が 不 安 だ か ら	定 年 が 早 い	給 与 、 待 遇 が 良 く な い	自 衛 隊 の 必 要 性 を 認 め な い	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.) %
平成21年1月調査	426	69.5	39.4	22.5	16.4	6.1	14.8	5.4	3.3	2.3	5.9	2.6	0.7	189.0
平成24年1月調査	363	71.3	35.0	29.2	17.4	8.0	17.9	8.8	4.1	1.9	7.7	1.9	1.9	205.2
平成27年1月調査	386	75.1	32.4	25.4	13.0	4.4	14.2	4.1	3.4	2.3	5.2	1.0	1.6	182.1
平成30年1月調査 (うち20歳以上)	484	81.4	30.8	30.4	13.4	9.1	9.1	6.8	4.3	3.3	2.9	2.5	0.6	194.6
平成30年1月調査	492	81.3	30.9	30.1	13.2	8.9	8.9	6.7	4.3	3.7	2.8	2.4	0.6	193.9

(注1) 平成30年1月調査までは、「その理由は何でしょうか。この中からいくつかもあげてください。」と聞いている。

(注2) 平成30年1月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

6 防衛への意識について

(1) 日本が外国から侵略された場合の態度

問 11. あなたは、もし日本が外国から侵略された場合、どうしますか。(○は1つ)

令和4年11月

- ・ 自衛隊に志願する 4.7%
- ・ 自衛隊に志願しないものの、何らかの方法で自衛隊を支援する 51.1%
- ・ 侵略した外国に対して、武力によらない抵抗をする 17.0%
- ・ 侵略した外国に対して、一切抵抗しない 1.4%
- ・ 何ともいえない 24.3%

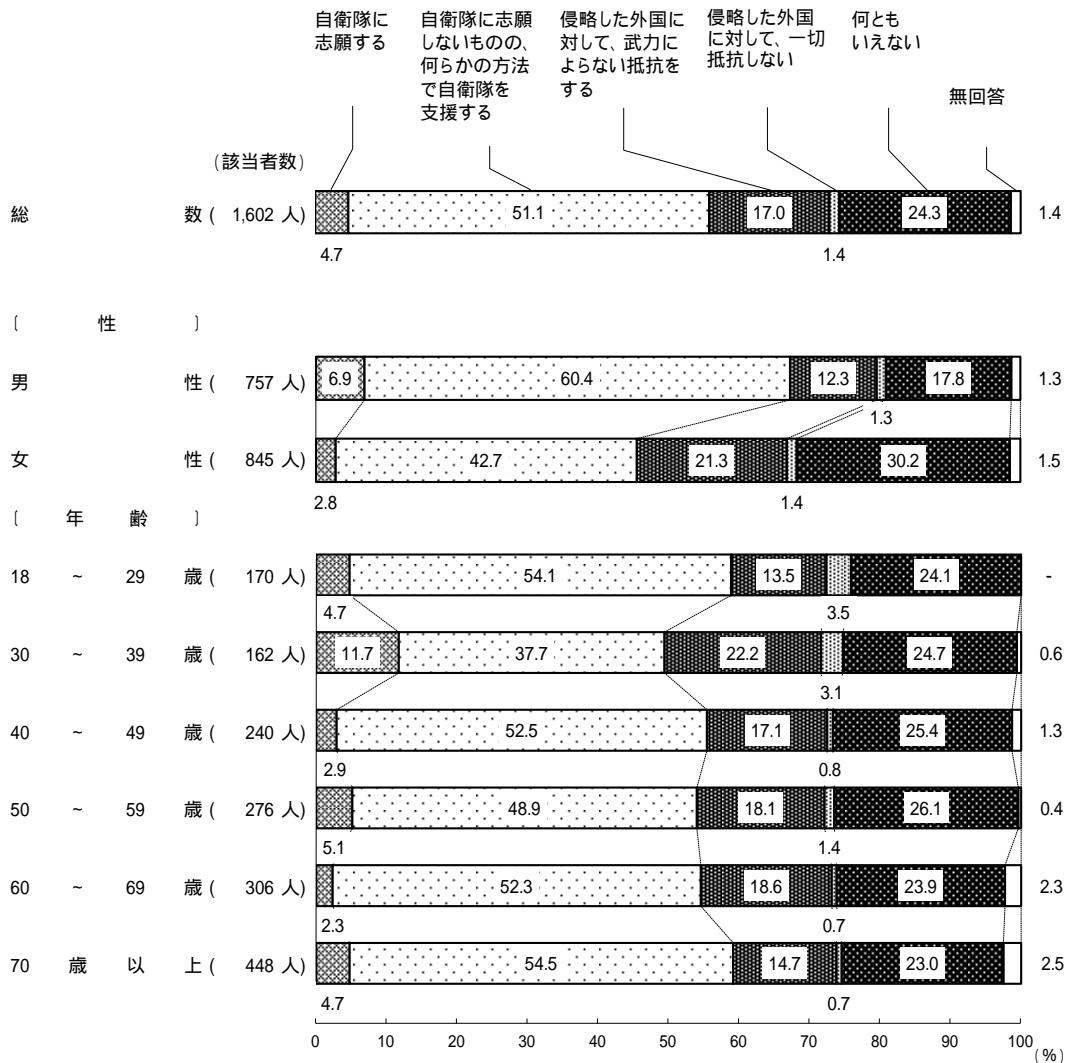


表 11 日本が外国から侵略された場合の態度

	該 当 者 数	自 衛 隊 に 志 願 す る	自 衛 隊 に 志 願 し な い も の を 支 援 す る	力 に よ ら な い 抵 抗 を す る	切 抵 抗 し な い	何 と も い え な い	無 回 答
	人	%	%	%	%	%	%
総 〔 都 市 規 模 〕 大 都 市	1,602	4.7	51.1	17.0	1.4	24.3	1.4
東 京 都 区 部	427	3.7	53.2	18.7	1.4	21.5	1.4
政 令 指 定 都 市	96	1.0	61.5	16.7	-	18.8	2.1
中 都 市	331	4.5	50.8	19.3	1.8	22.4	1.2
小 都 市	669	5.4	49.8	16.6	0.7	26.0	1.5
町 村	371	5.7	50.9	15.6	2.4	23.7	1.6
〔 性 〕	135	2.2	51.1	17.8	1.5	26.7	0.7
男 性	757	6.9	60.4	12.3	1.3	17.8	1.3
女 性	845	2.8	42.7	21.3	1.4	30.2	1.5
〔 年 齢 〕							
18 ~ 29 歳	170	4.7	54.1	13.5	3.5	24.1	-
30 ~ 39 歳	162	11.7	37.7	22.2	3.1	24.7	0.6
40 ~ 49 歳	240	2.9	52.5	17.1	0.8	25.4	1.3
50 ~ 59 歳	276	5.1	48.9	18.1	1.4	26.1	0.4
60 ~ 69 歳	306	2.3	52.3	18.6	0.7	23.9	2.3
70 歳 以 上	448	4.7	54.5	14.7	0.7	23.0	2.5

表 11 - 参考 外国から侵略された場合の態度

	該 当 者 数	自衛隊に参加して戦う（自衛隊に志願して、自衛官となつて戦う）（注1）	何らかの方法で自衛隊を支援する（自衛隊に志願しないもの、自衛隊の行う作戦などを支援する）（注2）	ゲリラ的な抵抗をする（自衛隊には志願や支援しないものの、武力を用いた行動をする）（注3）	武力によらない抵抗をする（侵略した外国に対して不服従の態度を取り、協力しない）（注4）	一切抵抗しない（侵略した外国の指示に服従し、協力する）（注5）	その他	わからない
	人	%	%	%	%	%	%	%
昭和 44 年 9 月 調査	2,474	7.7	31.8	2.8	12.5	6.5	1.7	36.9
昭和 50 年 10 月 調査	2,408	5.6	32.0	2.0	13.8	12.1	1.5	32.9
昭和 53 年 12 月 調査	2,439	6.8	40.4	1.6	14.8	9.3	0.5	26.6
昭和 56 年 12 月 調査	2,393	5.5	35.3	2.3	16.3	12.4	0.5	27.7
昭和 59 年 11 月 調査	2,424	5.0	38.0	2.3	15.5	11.8	1.4	26.2
昭和 63 年 1 月 調査	2,374	5.0	39.6	2.0	18.9	10.2	2.1	22.3
平成 3 年 2 月 調査	2,156	6.3	36.7	2.6	25.0	9.8	0.8	18.7
平成 6 年 1 月 調査	2,082	4.6	39.3	1.8	20.7	11.3	0.7	21.7
平成 9 年 2 月 調査	2,114	6.1	42.8	2.0	20.5	8.7	1.4	18.5
平成 12 年 1 月 調査	3,461	6.9	43.3	1.7	19.0	8.9	1.4	18.9
平成 15 年 1 月 調査	2,126	5.8	48.9	1.9	18.3	7.7	1.3	16.1
平成 18 年 2 月 調査	1,657	6.9	53.5	1.6	18.1	8.8	1.4	9.7
平成 21 年 1 月 調査	1,781	6.2	49.6	1.9	23.0	8.1	1.0	10.1
平成 24 年 1 月 調査	1,893	6.6	56.6	2.2	18.9	4.8	0.6	10.3
平成 27 年 1 月 調査	1,680	6.8	56.8	1.9	19.5	5.1	1.0	8.9
平成 30 年 1 月 調査 （うち 20 歳以上）	1,644	5.8	54.7	1.9	19.5	6.6	0.9	10.6
平成 30 年 1 月 調査	1,671	5.9	54.6	1.9	19.6	6.6	0.8	10.6

（注1）平成18年2月調査までは、「自衛隊に参加して戦う」となっている。

（注2）平成18年2月調査までは、「何らかの方法で自衛隊を支援する」、平成27年1月調査までは、「何らかの方法で自衛隊を支援する（自衛隊に志願しないものの、あらゆる手段で自衛隊の行う作戦などを支援する）」となっている。

（注3）平成18年2月調査までは、「ゲリラ的な抵抗をする」となっている。

（注4）平成18年2月調査までは、「武力によらない抵抗をする」となっている。

（注5）平成18年2月調査までは、「一切抵抗しない」となっている。

（注6）昭和44年9月調査では、「では、もし日本が外国から侵略された場合、あなたはどうですか、この中ではどうでしょうか。」と聞いている。

（注7）平成15年1月調査までは、「ところで、もし日本が外国から侵略された場合、あなたはどうですか。この中から1つお答えください。（平成12年1月調査までは、「この中ではどうでしょうか。」）」と聞いている。

（注8）平成30年1月調査までは、「もし日本が外国から侵略された場合、あなたはどうですか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

（注9）平成30年1月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(2) 国の防衛について教育の場で取り上げる必要があることへの考え

問 12. あなたは、国の防衛について教育の場で取り上げる必要があると思いますか。(○は1つ)

令和4年11月

<u>取り上げる必要がある(小計)</u>	89.3%
・取り上げる必要がある	47.8%
・どちらかといえば取り上げる必要がある	41.4%
<u>取り上げる必要はない(小計)</u>	9.3%
・どちらかといえば取り上げる必要はない	6.6%
・取り上げる必要はない	2.7%

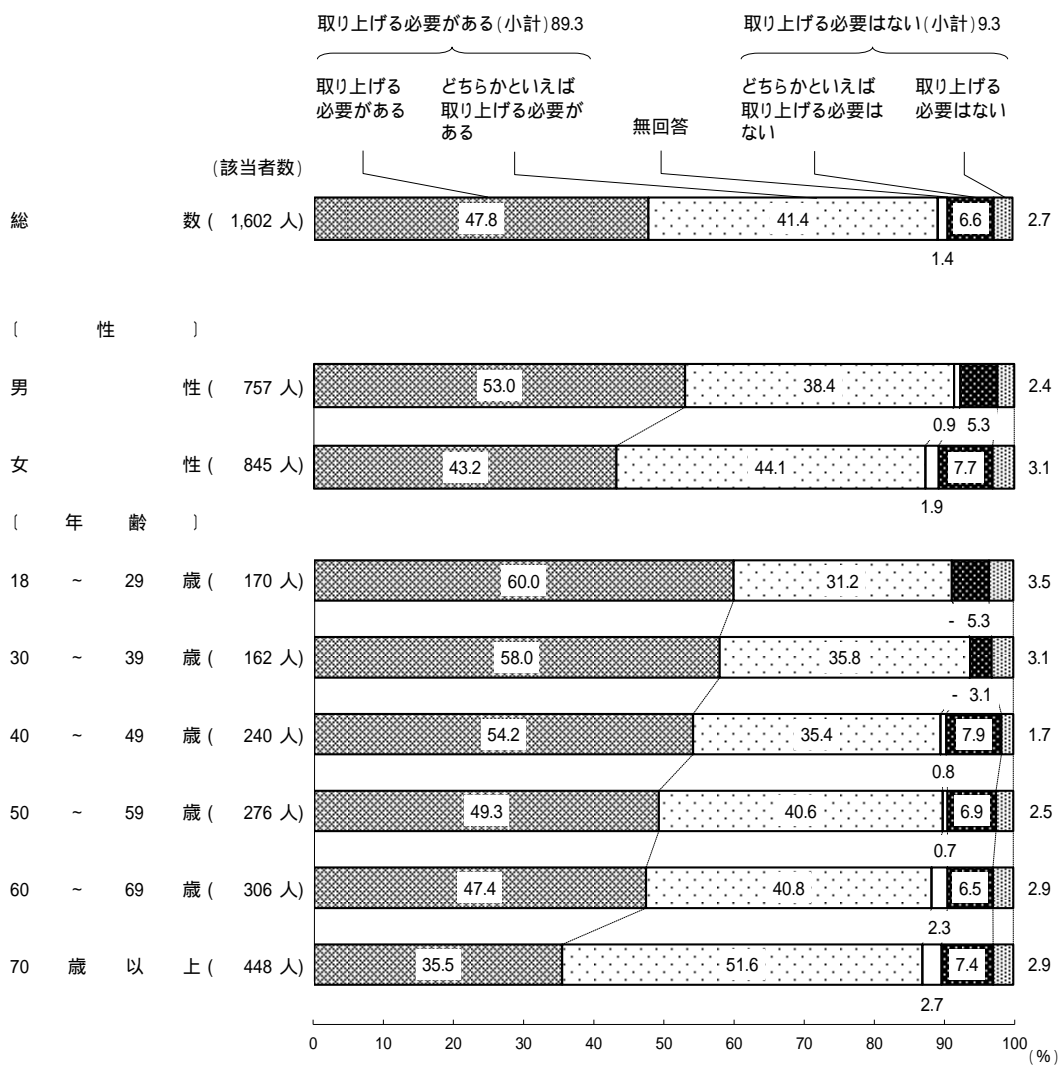


表 12 国の防衛について教育の場で取り上げる必要があることへの考え

	該 当 者 数	取り上げる必要がある			取り上げる必要はない			無 回 答
		取り上げる必要がある (小計)	取り上げる必要がある	どちらかといえば取り上げる必要がある	取り上げる必要はない (小計)	取り上げる必要はない	どちらかといえば取り上げる必要はない	
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,602	89.3	47.8	41.4	9.3	6.6	2.7	1.4
(都市規模)								
大都市	427	92.0	52.0	40.0	6.8	4.4	2.3	1.2
東京都	96	94.8	60.4	34.4	4.2	3.1	1.0	1.0
政令指定都市	331	91.2	49.5	41.7	7.6	4.8	2.7	1.2
中都市	669	88.3	45.9	42.5	10.0	6.7	3.3	1.6
小都市	371	87.3	46.4	41.0	10.8	8.6	2.2	1.9
町	135	90.4	48.1	42.2	9.6	6.7	3.0	-
(性別)								
男性	757	91.4	53.0	38.4	7.7	5.3	2.4	0.9
女性	845	87.3	43.2	44.1	10.8	7.7	3.1	1.9
(年齢)								
18～29歳	170	91.2	60.0	31.2	8.8	5.3	3.5	-
30～39歳	162	93.8	58.0	35.8	6.2	3.1	3.1	-
40～49歳	240	89.6	54.2	35.4	9.6	7.9	1.7	0.8
50～59歳	276	89.9	49.3	40.6	9.4	6.9	2.5	0.7
60～69歳	306	88.2	47.4	40.8	9.5	6.5	2.9	2.3
70歳以上	448	87.1	35.5	51.6	10.3	7.4	2.9	2.7

表 12 - 参考 国を守るという気持ちの教育の必要性

	該 当 者 数	教育の場 で取り 上げる 必要 がある	教育の場 で取り 上げる 必要 はない	わ か ら な い
	人	%	%	%
昭和 53 年 12 月 調査	2,439	47.9	29.2	23.0
昭和 56 年 12 月 調査	2,393	47.0	31.5	21.6
昭和 59 年 11 月 調査	2,424	49.2	29.3	21.5
昭和 63 年 1 月 調査	2,374	45.2	34.9	20.0
平成 3 年 2 月 調査	2,156	44.9	34.7	20.4
平成 6 年 1 月 調査	2,082	44.5	33.4	22.0
平成 9 年 2 月 調査	2,114	49.6	32.8	17.6
平成 12 年 1 月 調査	3,461	49.9	31.2	18.9
平成 15 年 1 月 調査	2,126	55.6	29.1	15.4
平成 18 年 2 月 調査	1,657	65.7	22.1	12.3
平成 21 年 1 月 調査	1,781	67.0	22.5	10.6
平成 24 年 1 月 調査	1,893	70.0	19.3	10.7
平成 27 年 1 月 調査	1,680	72.3	21.6	6.1
平成 30 年 1 月 調査 (うち 20 歳以上)	1,644	70.4	22.4	7.2
平成 30 年 1 月 調査	1,671	70.4	22.3	7.2

(注 1) 昭和 59 年 11 月調査までは、「あなたは、国民が国を守るという気持ちをもっと持つようになるため、教育の場で取り上げる必要があると思いますが、その必要はないと思いますか。」と聞いている。

(注 2) 平成 3 年 2 月調査までは、「あなたは、国民が国を守るという気持ちをもっと持つようになるため、教育の場で取り上げる必要があると思いますが、それともその必要はないと思いますか。」と聞いている。

(注 3) 平成 24 年 1 月調査までは、「あなたは、国民が国を守るという気持ちをもっと持つようになるため、教育の場で取り上げる必要があると思いますが、それともその必要はないと思いますか。」と聞いている。

(注 4) 平成 30 年 1 月調査までは、「あなたは、国民が国を守るという気持ちをもっと持つようになるため、教育の場で取り上げる必要があると思いますが、それともその必要はないと思いますか。この中から 1 つだけお答えください。」と聞いている。

(注 5) 平成 30 年 1 月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和 4 年 11 月調査との単純比較は行わない。

7 日本の防衛のあり方について

(1) 日米安全保障条約が日本の平和と安全に役立つことへの考え

問 13. 現在、日本はアメリカと安全保障条約を結んでいます。あなたは、この日米安全保障条約は日本の平和と安全に役立っていると思いますか。(○は1つ)

令和4年11月

<u>役立っている(小計)</u>	<u>89.7%</u>
・役立っている	39.1%
・どちらかといえば役立っている	50.6%
<u>役立っていない(小計)</u>	<u>9.1%</u>
・どちらかといえば役立っていない	7.1%
・役立っていない	2.0%

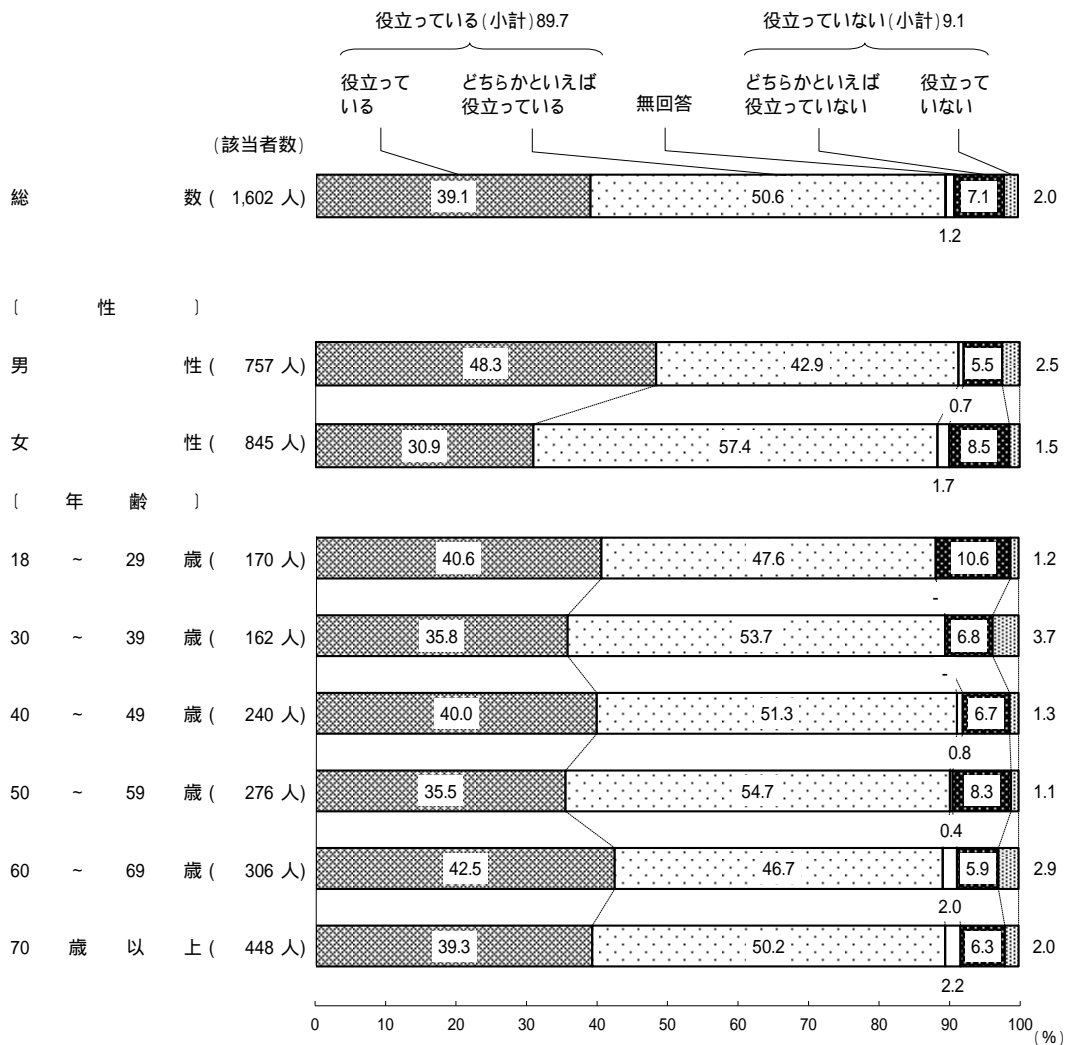


表 13 日米安全保障条約が日本の平和と安全に役立つことへの考え

	該 当 者 数	役 立 っ て (小計) る	役	ど	役	ど	役	無 回 答
			立 っ て い る	ち ら か と い え ば 役 立 っ て い る	立 っ て い ない	ち ら か と い え ば 役 立 っ て い ない		
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,602	89.7	39.1	50.6	9.1	7.1	2.0	1.2
〔都市規模〕								
大都市	427	89.0	39.8	49.2	9.8	7.7	2.1	1.2
東京都区部	96	83.3	40.6	42.7	16.7	13.5	3.1	-
政令指定都市	331	90.6	39.6	51.1	7.9	6.0	1.8	1.5
中都市	669	89.1	38.1	51.0	9.7	7.6	2.1	1.2
小都市	371	91.6	41.0	50.7	7.0	5.7	1.3	1.3
町	135	89.6	37.0	52.6	9.6	6.7	3.0	0.7
〔性〕								
男性	757	91.3	48.3	42.9	8.1	5.5	2.5	0.7
女性	845	88.3	30.9	57.4	10.1	8.5	1.5	1.7
〔年齢〕								
18～29歳	170	88.2	40.6	47.6	11.8	10.6	1.2	-
30～39歳	162	89.5	35.8	53.7	10.5	6.8	3.7	-
40～49歳	240	91.3	40.0	51.3	7.9	6.7	1.3	0.8
50～59歳	276	90.2	35.5	54.7	9.4	8.3	1.1	0.4
60～69歳	306	89.2	42.5	46.7	8.8	5.9	2.9	2.0
70歳以上	448	89.5	39.3	50.2	8.3	6.3	2.0	2.2

表 13 - 参考 日米安全保障条約についての考え方

	該 当 者 数	役 立 っ て (小計) る	役	ど	役	ど	わ か ら な い	
			立 っ て い る	ち ら か と い え ば 役 立 っ て い る	立 っ て い ない	ち ら か と い え ば 役 立 っ て い ない		
	人	%	%	%	%	%	%	
昭和53年12月調査	2,439	65.6	29.7	35.9	11.8	7.7	4.1	22.6
昭和56年12月調査	2,393	65.8	29.7	36.1	12.7	8.3	4.4	21.5
昭和59年11月調査	2,424	71.4	33.9	37.5	10.4	6.5	3.9	18.2
昭和63年1月調査	2,374	68.8	29.7	39.1	12.5	8.8	3.7	18.7
平成3年2月調査	2,156	63.5	27.0	36.5	18.2	13.3	4.9	18.3
平成6年1月調査	2,082	68.3	27.9	40.4	14.6	10.6	3.9	17.1
平成9年2月調査	2,114	69.4	25.7	43.7	15.4	11.9	3.5	15.2
平成12年1月調査	3,461	71.6	29.8	41.7	14.8	10.3	4.5	13.7
平成15年1月調査	2,126	73.4	31.4	42.0	13.2	10.1	3.2	13.4
平成18年2月調査	1,657	75.1	34.8	40.3	17.0	12.1	4.9	7.9
平成21年1月調査	1,781	76.4	31.3	45.0	16.2	11.9	4.3	7.4
平成24年1月調査	1,893	81.2	36.8	44.4	10.8	8.6	2.3	8.0
平成27年1月調査	1,680	82.9	38.5	44.4	11.5	8.9	2.7	5.5
平成30年1月調査 (うち20歳以上)	1,644	77.6	29.9	47.7	15.6	12.5	3.1	6.8
平成30年1月調査	1,671	77.5	29.9	47.6	15.6	12.6	3.1	6.9

(注1) 平成30年1月調査までは、「日本は現在、アメリカと安全保障条約を結んでいますが、この日米安全保障条約は日本の平和と安全に役立っていると思いますか、役立っていないと思いますか。この中から1つだけお答えください。(平成12年1月調査までは、「この中ではどうでしょうか。」)」と聞いている。

(注2) 平成30年1月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(2) 日米安全保障条約と自衛隊の防衛のあり方の考え

問 14. あなたは、日本の安全を守るためには、日米安全保障条約と自衛隊の防衛はどうあるべきだと思いますか。(○は1つ)

令和4年11月

- ・日米安全保障条約を続け、自衛隊で日本の安全を守るべきである 90.9%
- ・日米安全保障条約をやめて、自衛隊だけで日本の安全を守るべきである 5.6%
- ・日米安全保障条約をやめて、自衛隊も縮小または廃止するべきである 1.6%

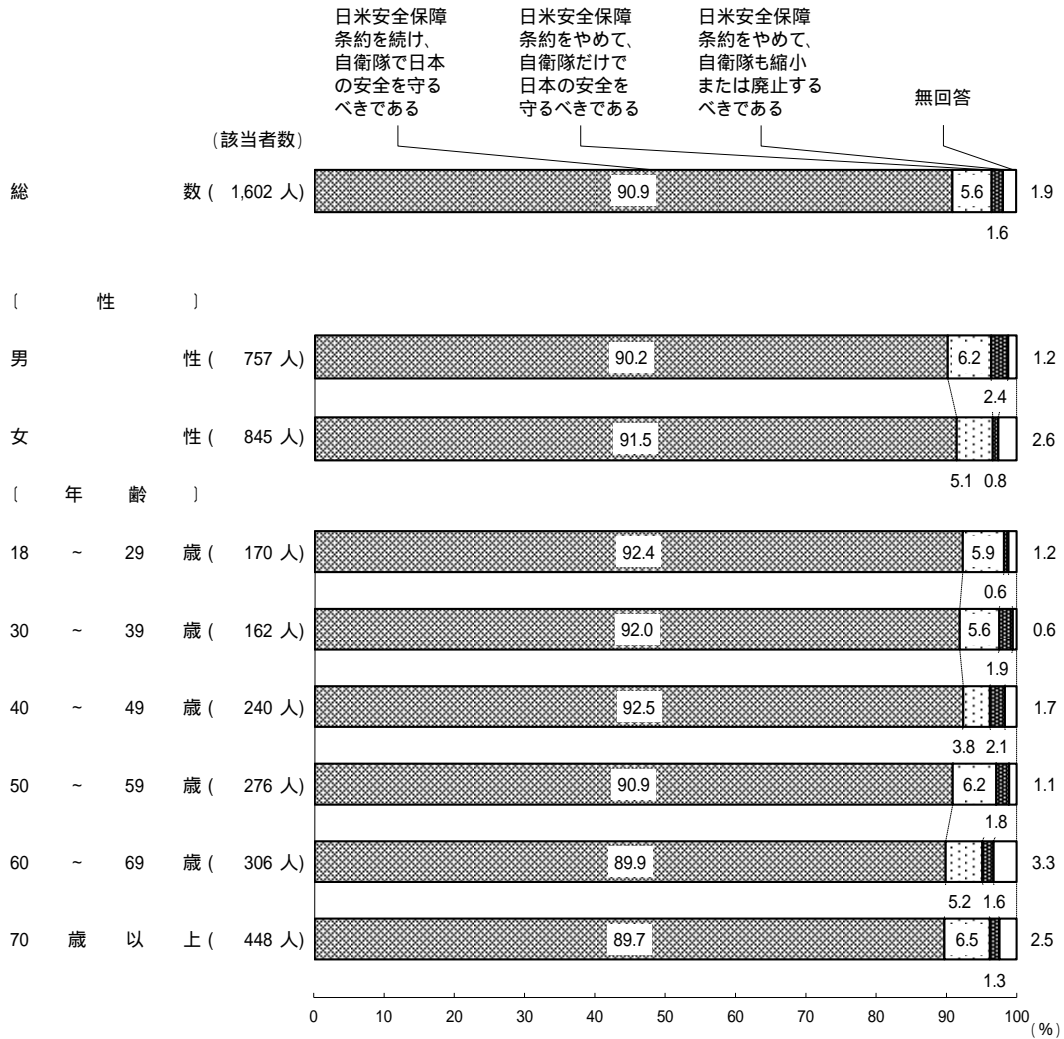


表 14 日米安全保障条約と自衛隊の防衛のあり方の考え

	該 当 者 数	日米安全保障条約を続けるべきである	日米安全保障条約をやめて、自衛隊だけで日本の安全を守るべきである	日米安全保障条約をやめて、自衛隊も縮小または廃止するべきである	無 回 答
	人	%	%	%	%
総数	1,602	90.9	5.6	1.6	1.9
〔都市規模〕					
大都市	427	88.8	7.5	1.4	2.3
東京都区部	96	83.3	12.5	2.1	2.1
政令指定都市	331	90.3	6.0	1.2	2.4
中都市	669	91.3	5.4	1.5	1.8
小都市	371	92.5	4.3	1.3	1.9
町村	135	91.1	4.4	3.0	1.5
〔性〕					
男性	757	90.2	6.2	2.4	1.2
女性	845	91.5	5.1	0.8	2.6
〔年齢〕					
18～29歳	170	92.4	5.9	0.6	1.2
30～39歳	162	92.0	5.6	1.9	0.6
40～49歳	240	92.5	3.8	2.1	1.7
50～59歳	276	90.9	6.2	1.8	1.1
60～69歳	306	89.9	5.2	1.6	3.3
70歳以上	448	89.7	6.5	1.3	2.5

表 14 - 参考 日本の安全を守るための方法

	該 当 者 数	現状況どおり自衛隊で日本の安全保障を守る	日米安全保障条約をやめて、自衛隊だけで日本の安全を守る	日米安全保障条約をやめて、自衛隊も縮小または廃止する	そ の 他	わ か ら な い
	人	%	%	%	%	%
平成 21 年 1 月 調査	1,781	77.3	9.9	4.2	1.4	7.2
平成 24 年 1 月 調査	1,893	82.3	7.8	2.2	0.8	7.0
平成 27 年 1 月 調査	1,680	84.6	6.6	2.6	0.8	5.4
平成 30 年 1 月 調査 (うち 20 歳以上)	1,644	81.9	7.1	3.0	0.6	7.4
平成 30 年 1 月 調査	1,671	81.9	7.1	2.9	0.7	7.4

(注 1) 平成30年1月調査までは、「では、あなたは日本の安全を守るためにはどのような方法をとるべきだと思いますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注 2) 平成30年1月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(3) 日本が戦争に巻き込まれる危険があることへの考え

問 15. あなたは、現在の世界の情勢から考えて、日本が戦争を仕掛けられたり、戦争に巻き込まれたりする危険があると思いますか。(○は1つ)

令和4年11月

危険がある(小計)	86.2%
・危険がある	38.1%
・どちらかといえば危険がある	48.1%
危険がない(小計)	12.8%
・どちらかといえば危険がない	11.2%
・危険がない	1.6%

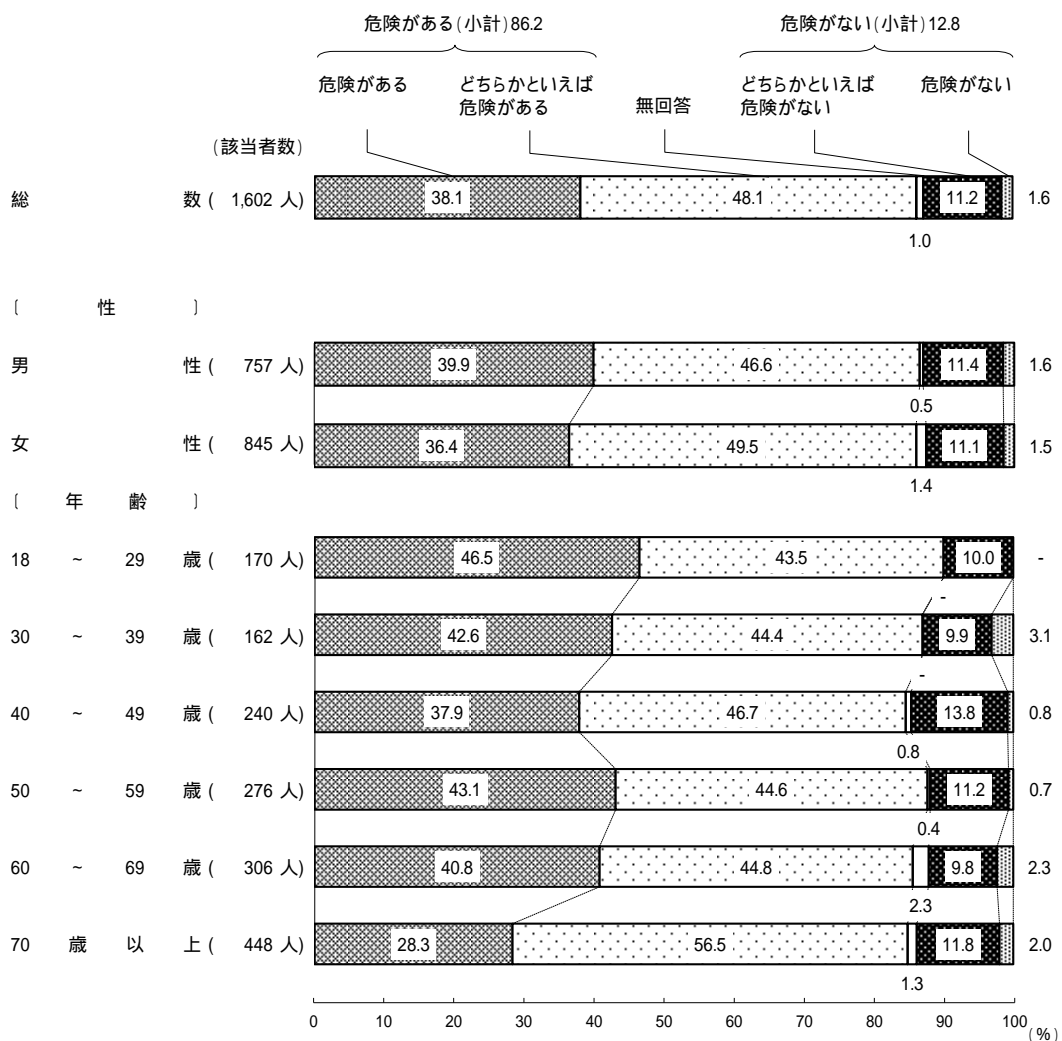


表 15 日本が戦争に巻き込まれる危険があることへの考え

	該 当 者 数	危 険 が あ る (小計)			危 険 が な い (小計)			無 回 答
		危 険 が あ る	危 険 が あ る	あ ど ち ら か と い え ば 危 険 が あ る	危 険 が な い	危 険 が な い	あ ど ち ら か と い え ば 危 険 が な い	
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,602	86.2	38.1	48.1	12.8	11.2	1.6	1.0
〔都市規模〕								
大都市	427	86.9	38.6	48.2	12.2	11.0	1.2	0.9
東京都	96	86.5	34.4	52.1	13.5	11.5	2.1	-
政令指定都市	331	87.0	39.9	47.1	11.8	10.9	0.9	1.2
中都市	669	86.8	37.8	49.0	12.1	10.8	1.3	1.0
小都市	371	84.4	36.9	47.4	14.6	12.4	2.2	1.1
町	135	85.9	40.7	45.2	13.3	11.1	2.2	0.7
〔性〕								
男性	757	86.5	39.9	46.6	12.9	11.4	1.6	0.5
女性	845	85.9	36.4	49.5	12.7	11.1	1.5	1.4
〔年齢〕								
18～29歳	170	90.0	46.5	43.5	10.0	10.0	-	-
30～39歳	162	87.0	42.6	44.4	13.0	9.9	3.1	-
40～49歳	240	84.6	37.9	46.7	14.6	13.8	0.8	0.8
50～59歳	276	87.7	43.1	44.6	12.0	11.2	0.7	0.4
60～69歳	306	85.6	40.8	44.8	12.1	9.8	2.3	2.3
70歳以上	448	84.8	28.3	56.5	13.8	11.8	2.0	1.3

表 15 - 参考 日本が戦争に巻き込まれる危険性

	該 当 者 数	危 険 が あ る (小計)			危 険 が な い (小計)			わ か ら な い
		危 険 が あ る	危 険 が あ る	あ ど ち ら か と い え ば 危 険 が あ る	危 険 が な い	危 険 が な い	あ ど ち ら か と い え ば 危 険 が な い	
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成21年1月調査	1,781	69.2	26.6	42.6	25.8	19.3	6.5	4.9
平成24年1月調査	1,893	72.3	27.3	45.1	22.0	17.2	4.9	5.7
平成27年1月調査	1,680	75.5	28.3	47.2	19.8	16.0	3.8	4.8
平成30年1月調査 (うち20歳以上)	1,644	85.4	37.8	47.6	10.8	8.3	2.6	3.8
平成30年1月調査	1,671	85.5	38.0	47.5	10.7	8.1	2.5	3.8

(注1) 平成30年1月調査までは、「あなたは、現在の世界の情勢から考えて日本が戦争を仕掛けられたり戦争に巻き込まれたりする危険があると思いますか、それともそのような危険はないと思いますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注2) 平成30年1月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(ア) 危険があると思う理由

(問15で「危険がある」、「どちらかといえば危険がある」と答えた者に)

問16. 危険があると思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

令和4年11月

- ・ 国際的な緊張や対立があるから 85.7%
- ・ 国連の機能が不十分だから 38.2%
- ・ 自衛力が不十分だから 28.2%
- ・ 日米安全保障条約があるから 11.7%

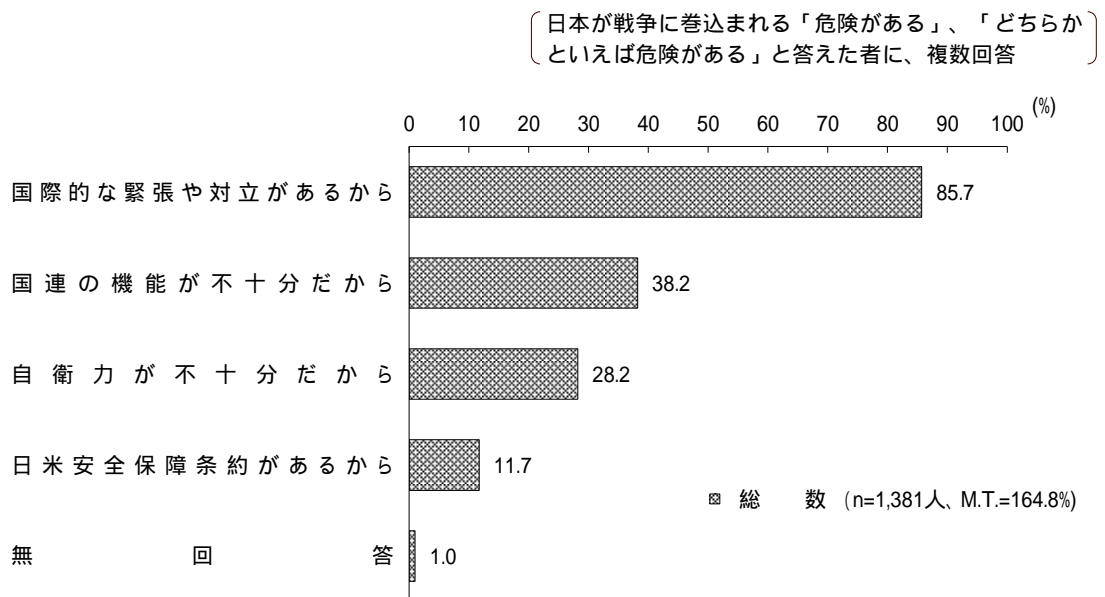


表 16 危険があると思う理由

〔日本が戦争に巻き込まれる「危険がある」、「どちらか」といえば危険がある」と答えた者に、複数回答〕

	該 当 者 数	あ る 国 際 的 な 緊 張 や 対 立 が	か 国 連 の 機 能 が 不 十 分 だ	自 衛 力 が 不 十 分 だ か ら	る 日 米 安 全 保 障 条 約 が あ	無 回 答	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	1,381	85.7	38.2	28.2	11.7	1.0	164.8
大 都 市	371	87.1	41.2	28.8	12.1	0.5	169.8
東 京 都 区 部	83	89.2	42.2	26.5	10.8	1.2	169.9
政 令 指 定 都 市	288	86.5	41.0	29.5	12.5	0.3	169.8
中 都 市	581	85.0	39.6	27.2	9.8	1.5	163.2
小 都 市	313	84.3	33.5	31.3	13.1	1.0	163.3
町 村	116	88.8	33.6	23.3	15.5	-	161.2
〔性〕							
男 性	655	85.5	45.6	29.9	12.2	0.8	174.0
女 性	726	86.0	31.4	26.7	11.2	1.2	156.5
〔年 齢〕							
18 ~ 29 歳	153	89.5	21.6	17.0	10.5	1.3	139.9
30 ~ 39 歳	141	88.7	34.8	27.7	12.1	2.1	165.2
40 ~ 49 歳	203	89.7	28.6	28.6	12.8	0.5	160.1
50 ~ 59 歳	242	90.9	38.8	27.7	8.3	0.8	166.5
60 ~ 69 歳	262	87.4	46.9	32.1	11.5	0.4	178.2
70 歳 以 上	380	76.6	44.7	30.5	13.7	1.3	166.8

表 16 - 参考 日本が戦争に巻き込まれる危険があると思う理由

〔日本が戦争に巻き込まれる「危険がある」、「どちらか」といえば危険がある」と答えた者に、複数回答〕

	該 当 者 数	あ る 国 際 的 な 緊 張 や 対 立 が	か 国 連 の 機 能 が 不 十 分 だ	自 衛 力 が 不 十 分 だ か ら	る 日 米 安 全 保 障 条 約 が あ	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%
平成 21 年 1 月 調 査	1,233	75.4	31.9	19.5	16.7	1.7	1.9	147.1
平成 24 年 1 月 調 査	1,369	81.4	28.3	23.4	13.7	1.2	2.2	150.2
平成 27 年 1 月 調 査	1,268	82.6	27.8	19.2	12.9	1.0	1.4	144.8
平成 30 年 1 月 調 査 (うち 20 歳 以上)	1,404	84.7	29.1	18.3	16.2	1.1	1.2	150.5
平成 30 年 1 月 調 査	1,429	84.5	28.7	18.2	16.4	1.0	1.3	150.1

(注 1) 平成30年1月調査までは、「どうしてそう思うのですか。この中からいくつかもあげてください。」と聞いている。

(注 2) 平成30年1月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(イ) 危険がないと思う理由

(問 15 で「どちらかといえば危険がない」、「危険がない」と答えた者に)
問 17. 危険がないと思う理由は何ですか。(〇はいくつでも)

(上位3項目)
令和4年11月

- ・日米安全保障条約があるから 56.6%
- ・戦争放棄の憲法があるから 47.8%
- ・国連が平和への努力をしているから 43.9%

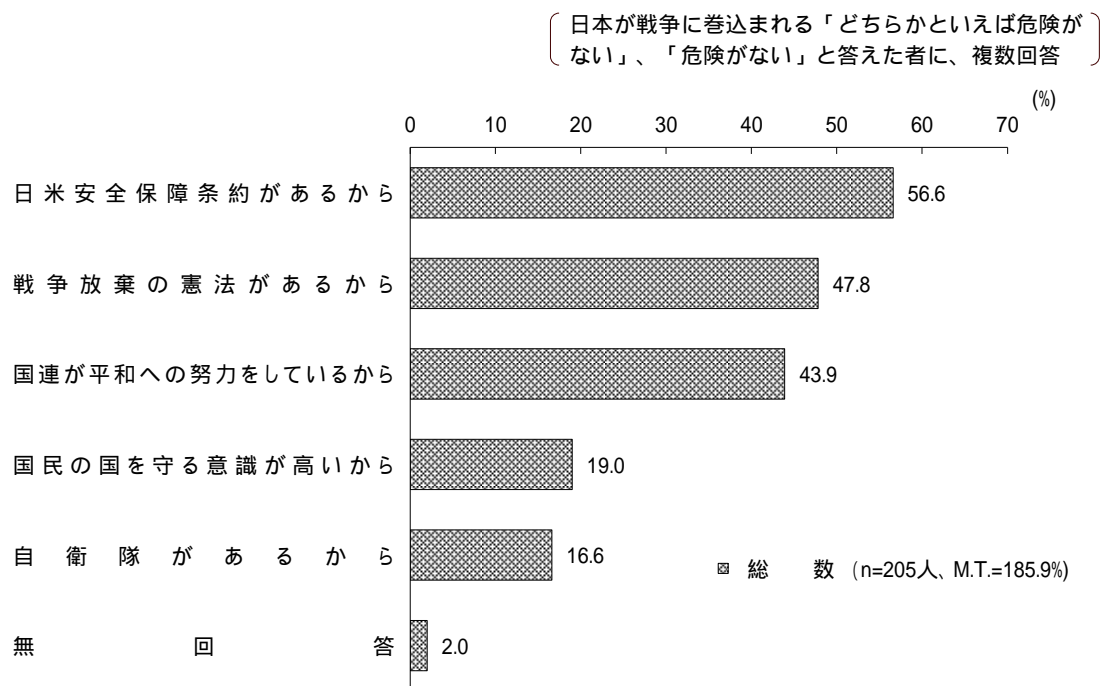


表 17 危険がないと思う理由

（日本が戦争に巻き込まれる「どちらかといえば危険がない」、「危険がない」と答えた者に、複数回答）

	該 当 者 数	る日 米安 全保 障条 約が あ	か戦 争放 棄の 憲法 があ る	し国 て連 いが る平 和へ の努 力を	高国 い民 かの 国を 守る 意識 が	自衛 隊が ある から	無 回 答	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	205	56.6	47.8	43.9	19.0	16.6	2.0	185.9
〔都市規模〕								
大都市	52	63.5	55.8	46.2	11.5	13.5	3.8	194.2
東京都区	13	76.9	53.8	53.8	23.1	23.1	7.7	238.5
政令指定都市	39	59.0	56.4	43.6	7.7	10.3	2.6	179.5
中都市	81	54.3	39.5	37.0	24.7	18.5	-	174.1
小都市	54	50.0	51.9	53.7	14.8	18.5	1.9	190.7
町	18	66.7	50.0	38.9	27.8	11.1	5.6	200.0
〔性〕								
男性	98	57.1	34.7	46.9	16.3	20.4	1.0	176.5
女性	107	56.1	59.8	41.1	21.5	13.1	2.8	194.4
〔年齢〕								
18～29歳	17	47.1	52.9	41.2	11.8	11.8	5.9	170.6
30～39歳	21	57.1	47.6	47.6	14.3	14.3	-	181.0
40～49歳	35	68.6	42.9	45.7	14.3	17.1	-	188.6
50～59歳	33	45.5	42.4	36.4	30.3	18.2	-	172.7
60～69歳	37	56.8	56.8	51.4	18.9	18.9	-	202.7
70歳以上	62	58.1	46.8	41.9	19.4	16.1	4.8	187.1

表 17 - 参考 日本が戦争に巻き込まれる危険がないと思う理由

（日本が戦争に巻き込まれる「どちらかといえば危険がない」、「危険はない」と答えた者に、複数回答）

	該 当 者 数	る日 米安 全保 障条 約が あ	し国 て連 いが る平 和へ の努 力を	か戦 争放 棄の 憲法 があ る	自衛 隊が ある から	高国 い民 かの 国を 守る 意識 が	弱国 際的 な緊 張や 対立 が	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平成 21 年 1 月 調査	460	45.0	32.2	38.9	7.0	7.4	16.7	3.3	5.7	156.1
平成 24 年 1 月 調査	417	52.5	49.4	34.5	15.8	11.3	16.1	1.9	4.3	185.9
平成 27 年 1 月 調査	332	47.9	34.3	43.1	15.4	13.0	5.1	2.7	3.3	164.8
平成 30 年 1 月 調査 (うち 20 歳以上)	178	44.4	31.5	31.5	15.7	13.5	5.6	5.1	6.7	153.9
平成 30 年 1 月 調査	178	44.4	31.5	31.5	15.7	13.5	5.6	5.1	6.7	153.9

(注 1) 平成30年 1 月調査までは、「どうしてそう思うのですか。この中からいくつかもあげてください。」と聞いている。

(注 2) 平成30年 1 月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和 4 年11月調査との単純比較は行わない。

(4) 防衛問題についての関心

問 18. あなたは、防衛問題について、どのようなことに関心を持っていますか。(○はいくつでも)

(上位 4 項目)
令和 4 年 11 月

- ・ 北朝鮮による核兵器や弾道ミサイル開発などの活動 68.9%
- ・ 日本の防衛力・防衛体制 64.0%
- ・ 中国の軍事力の近代化や、日本の周辺地域・東シナ海・南シナ海などにおける活動 61.3%
- ・ ロシアによるウクライナ侵略の状況やその影響 52.1%

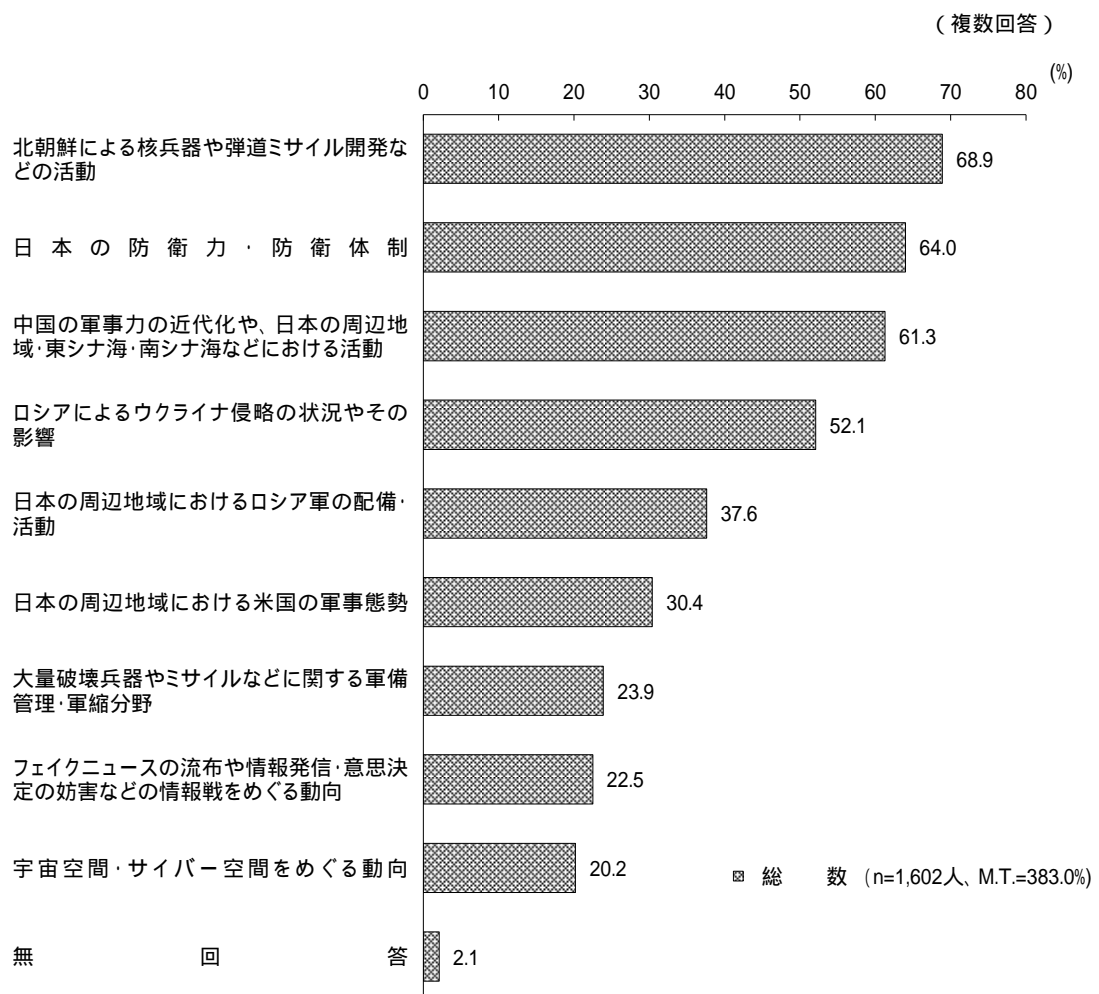


表18 - 参考 防衛問題に対する関心

		(複数回答)																			
該当者数	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	計 (M.T.)					
平成30年1月調査	1,671	68.6	48.6	39.7	39.6	30.9	29.6	27.8	26.6	21.4	20.8	20.3	16.6	16.2	12.5	7.2	0.5	5.9	3.4	452.5	
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
		北朝鮮による核兵器及びミサイルの発射など	中国の近代化や海洋における活動	国際テロ組織の活動	事日本周辺地域における米国の軍勢	米 国 と 中 国 と の 関 係	南シナ海の領有権問題などの東南アジア情勢	サイバー攻撃をめぐる動向	大規模破壊兵器やミサイルなどに関する軍備管理・軍縮分野	安全保障に関する法律などの整備	日本周辺地域におけるロシア軍配備・活動	米 国 と ロ シ ア と の 関 係	自 衛 隊 の 装 備	自衛隊機による増強発進(スラッシュバック)の増加	国際平和協力の活動などの海外における自衛隊の活動	シリア内戦やパレスチナ問題などの中東情勢	宇宙空間をめぐる動向	その他	特 に な い	わ か ら な い	

(注1) 平成30年1月調査では、「防衛問題について、あなたが関心を持っていることがありましたら、この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。
 (注2) 平成30年1月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(5) 平和安全法制が日本の安全保障に役立つことへの考え

(別添資料 3 を提示して)

問 19. あなたは、平和安全法制が日本の安全保障に役立っていると思いますか。(○ は 1 つ)

令和 4 年 11 月

<u>役立っている (小計)</u>	<u>63.8%</u>
・役立っている	23.2%
・どちらかといえば役立っている	40.6%
<u>役立っていない (小計)</u>	<u>5.7%</u>
・どちらかといえば役立っていない	3.2%
・役立っていない	2.5%
・どちらともいえない	27.9%

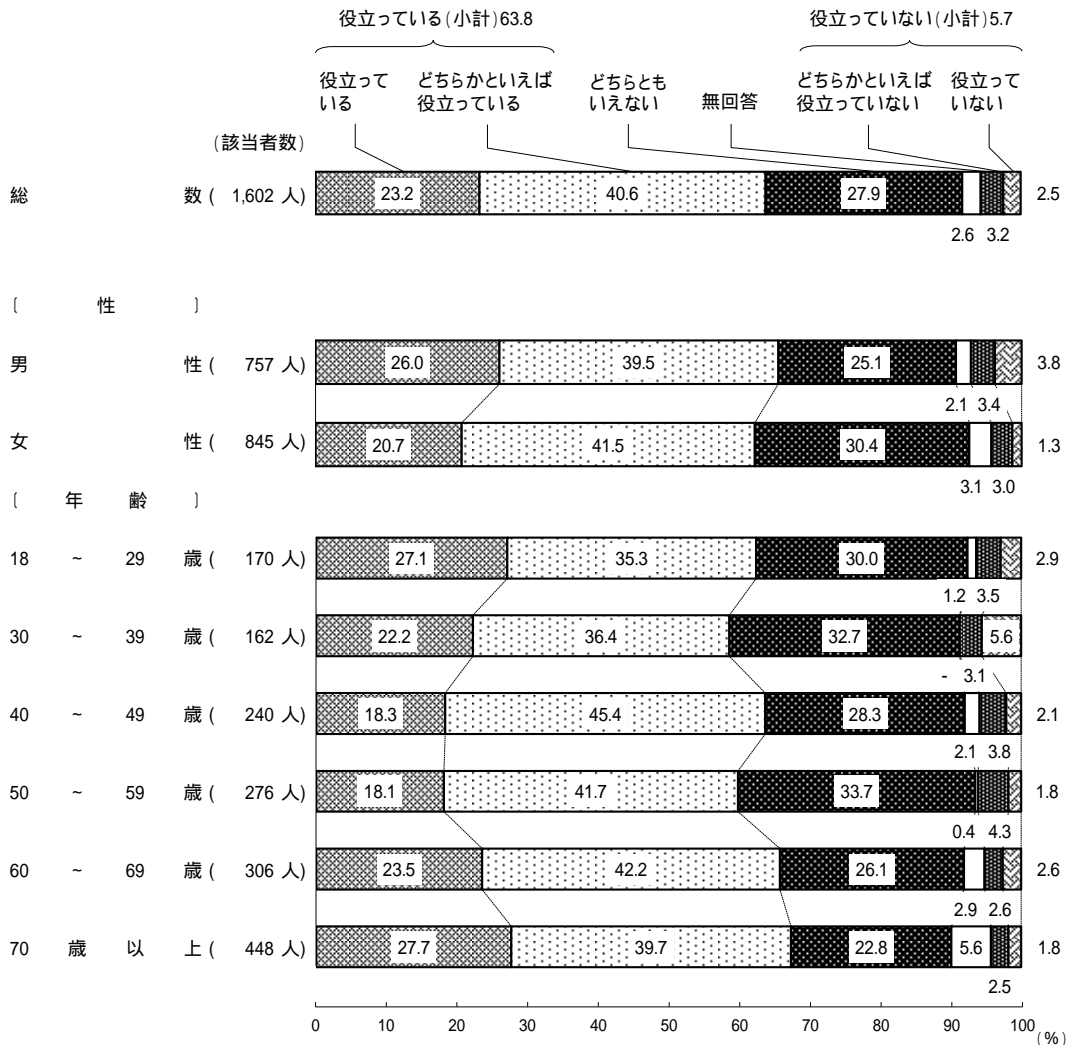


表 19 平和安全法制が日本の安全保障に役立つことへの考え

	該 当 者 数	役 立 っ て い る			ど ち ら と も い え な い	役 立 っ て い な い			無 回 答
		(小計)	役 立 っ て い る	ど ち ら か と い え ば 役 立 っ て い る		ど ち ら か と い え ば 役 立 っ て い な い	役 立 っ て い な い		
	人	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	1,602	63.8	23.2	40.6	27.9	5.7	3.2	2.5	2.6
大 都 市	427	60.7	20.6	40.0	30.2	6.8	3.7	3.0	2.3
東 京 都 区 部	96	62.5	24.0	38.5	26.0	9.4	5.2	4.2	2.1
政 令 指 定 都 市	331	60.1	19.6	40.5	31.4	6.0	3.3	2.7	2.4
中 都 市	669	62.9	22.6	40.4	28.3	5.7	3.1	2.5	3.1
小 都 市	371	67.4	27.5	39.9	25.3	4.9	3.0	1.9	2.4
町 村	135	68.1	23.0	45.2	25.9	4.4	2.2	2.2	1.5
〔性〕									
男 性	757	65.5	26.0	39.5	25.1	7.3	3.4	3.8	2.1
女 性	845	62.2	20.7	41.5	30.4	4.3	3.0	1.3	3.1
〔年齢〕									
18 ~ 29 歳	170	62.4	27.1	35.3	30.0	6.5	3.5	2.9	1.2
30 ~ 39 歳	162	58.6	22.2	36.4	32.7	8.6	3.1	5.6	-
40 ~ 49 歳	240	63.8	18.3	45.4	28.3	5.8	3.8	2.1	2.1
50 ~ 59 歳	276	59.8	18.1	41.7	33.7	6.2	4.3	1.8	0.4
60 ~ 69 歳	306	65.7	23.5	42.2	26.1	5.2	2.6	2.6	2.9
70 歳以上	448	67.4	27.7	39.7	22.8	4.2	2.5	1.8	5.6

〔別添〕

全員の方が【資料3】を読んでから下の問19にお答えください

【資料3】

平和安全法制とは

【概要】

2015年9月に成立した平和安全法制は、自衛隊がいざという時に国民の命と平和な暮らしを守るため、あらゆる事態に対して切れ目のない対応を行う態勢を整え、日米間の防衛協力を強化するとともに、他の関係国との信頼・協力関係を深めるためのものです。

【平和安全法制で対応が可能となったこと】

平和安全法制によって、例えば、以下の対応が可能となりました。

- 日本と密接な関係にある他国が武力攻撃を受け、武力で対処をしなければ、深刻・重大な被害が日本国民に及ぶことが明らかな場合に、日本の防衛のために自衛隊が対処すること。
- 日本の平和と安全に重要な影響を与える事態や、国際社会の平和と安全を脅かす事態において、自衛隊が外国の軍隊を支援すること。
- 外国における緊急事態において、自衛隊が外国に在住する日本人の警護、救出などを行うこと。
- 日本の防衛のために活動している米軍などの船舶、航空機、車両などを自衛隊が守ること。
- 国連平和維持活動などにおいて、NGOなどが襲撃されたときに、自衛隊が駆け付けて保護すること。

【平和安全法制施行後の自衛隊の取組】

平和安全法制の施行以降、平和安全法制に基づく新たな任務に係る他国との訓練を通じて、自衛隊の任務遂行能力の向上と、関係国との連携の強化に努めています。

また、次のような取組も行っています。

- 2016年11月、南スーダン派遣施設隊第11次要員に対し、いわゆる「駆け付け警護」や宿営地の共同防護といった新たな任務の付与を行いました。
- 2019年4月から、シナイ半島における「多国籍部隊・監視団」で活動を実施しています。
- 2021年は、米軍に対して21件、オーストラリア軍に対して1件の艦艇、航空機の警護を行いました。

(6) アメリカ以外との防衛協力・交流で、日本の平和と安全に役立つことへの考え

問 20. あなたは、同盟国であるアメリカ以外の国や地域と防衛協力・交流を進展させることで、日本の平和と安全に役立っていると思いますか。(○は1つ)

令和4年11月

<u>役立っている(小計)</u>	65.0%
・役立っている	27.3%
・どちらかといえば役立っている	37.8%
<u>役立っていない(小計)</u>	4.3%
・どちらかといえば役立っていない	2.3%
・役立っていない	2.0%
・どちらともいえない	27.7%

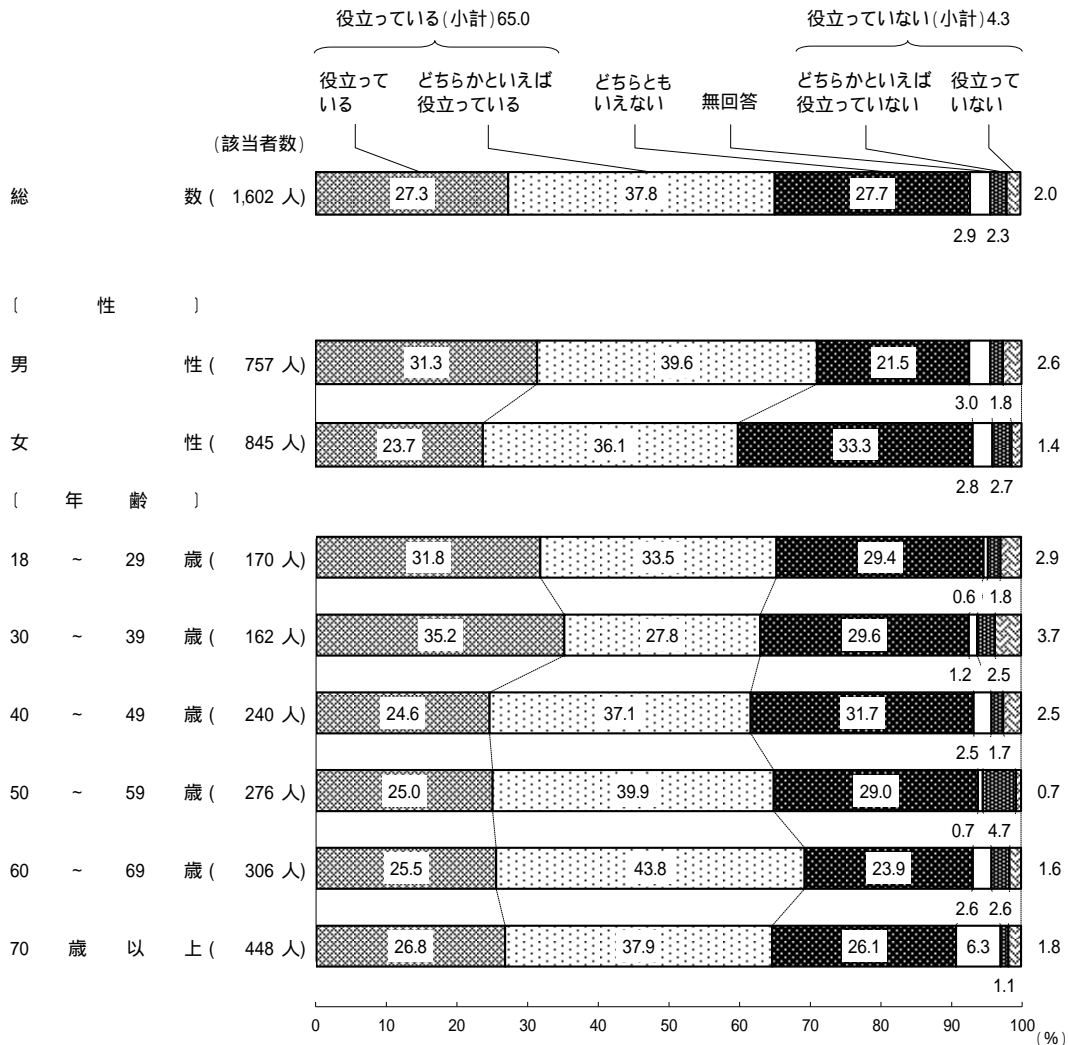


表 20 アメリカ以外との防衛協力・交流で、日本の平和と安全に役立つことへの考え

	該 当 者 数	役 立 っ て (小 計) る	役 立 っ て い る		ど ち ら か と い え ば 役 立 っ て い る	ど ち ら と も い え な い		役 立 っ て い な い (小 計) い	ど ち ら か と い え ば 役 立 っ て い な い		無 回 答
			%	%		%	%		%	%	
総 〔都市規模〕 大 東 京 都 区 部 政 令 指 定 都 市 中 都 市 小 都 市 町 村 〔性〕 男 性 女 性 〔年 齢〕 18 ~ 29 歳 30 ~ 39 歳 40 ~ 49 歳 50 ~ 59 歳 60 ~ 69 歳 70 歳 以 上	1,602 427 96 331 669 371 135 757 845 170 162 240 276 306 448	65.0 63.2 65.6 62.5 65.0 67.1 65.2 70.9 59.8 65.3 63.0 61.7 64.9 69.3 64.7	27.3 25.3 32.3 23.3 28.6 27.5 26.7 31.3 23.7 31.8 35.2 24.6 25.0 25.5 26.8	37.8 37.9 33.3 39.3 36.5 39.6 38.5 39.6 36.1 33.5 27.8 37.1 39.9 43.8 37.9	27.7 28.3 25.0 29.3 26.9 27.0 31.9 21.5 33.3 29.4 29.6 31.7 29.0 23.9 26.1	4.3 5.4 7.3 4.8 4.6 3.5 1.5 4.5 4.1 4.7 6.2 4.2 5.4 4.2 2.9	2.3 3.5 3.1 3.6 1.9 2.2 0.7 1.8 2.7 1.8 2.5 1.7 4.7 2.6 1.1	2.0 1.9 4.2 1.2 2.7 1.3 0.7 2.6 1.4 2.9 3.7 2.5 0.7 1.6 1.8	2.9 3.0 2.1 3.3 3.4 2.4 1.5 3.0 2.8 0.6 1.2 2.5 0.7 2.6 6.3		

表 20 - 参考 米国以外との防衛協力・交流についての意識

	該 当 者 数	役 立 っ て (小 計) る	役 立 っ て い る		ど ち ら か と い え ば 役 立 っ て い る	役 立 っ て い な い (小 計) い		わ か ら な い
			%	%		%	%	
平成 24 年 1 月 調 査	1,893	80.5	39.6	40.9	9.5	7.9	1.5	10.0
平成 27 年 1 月 調 査	1,680	82.3	42.1	40.2	9.7	7.5	2.2	8.0
平成 30 年 1 月 調 査 (うち 20 歳 以 上)	1,644	79.6	39.2	40.4	9.7	6.9	2.8	10.7
平成 30 年 1 月 調 査	1,671	79.6	39.2	40.4	9.8	7.0	2.8	10.7

(注 1) 平成24年1月調査では、「同盟国であるアメリカ以外の国とも防衛上の交流を行うことは、日本の平和と安全に役立っていると思いますか、役立っていないと思いますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注 2) 平成30年1月調査では、「あなたは、同盟国であるアメリカ以外の国とも防衛協力・交流を進展させることは、日本の平和と安全に役立っていると思いますか、役立っていないと思いますか。この中から1つだけお答えください。」と聞いている。

(注 3) 平成30年1月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

(ア) 日本の平和と安全に役立つと考える国や地域

(問 20 で「役立っている」、「どちらかといえば役立っている」と答えた者に)

問 21. 特に、どの国や地域との防衛協力・交流が日本の平和と安全にとって、役に立つと思いますか。(〇はいくつでも)

(上位 4 項目)

令和 4 年 11 月

・ 東南アジア諸国	52.6%
・ 韓国	51.4%
・ オーストラリア	45.3%
・ ヨーロッパ諸国	43.0%

(同盟国であるアメリカ以外の国や地域と防衛協力・交流を進展させることで、日本の平和と安全に「役立っている」、「どちらかといえば役立っている」と答えた者に、複数回答)

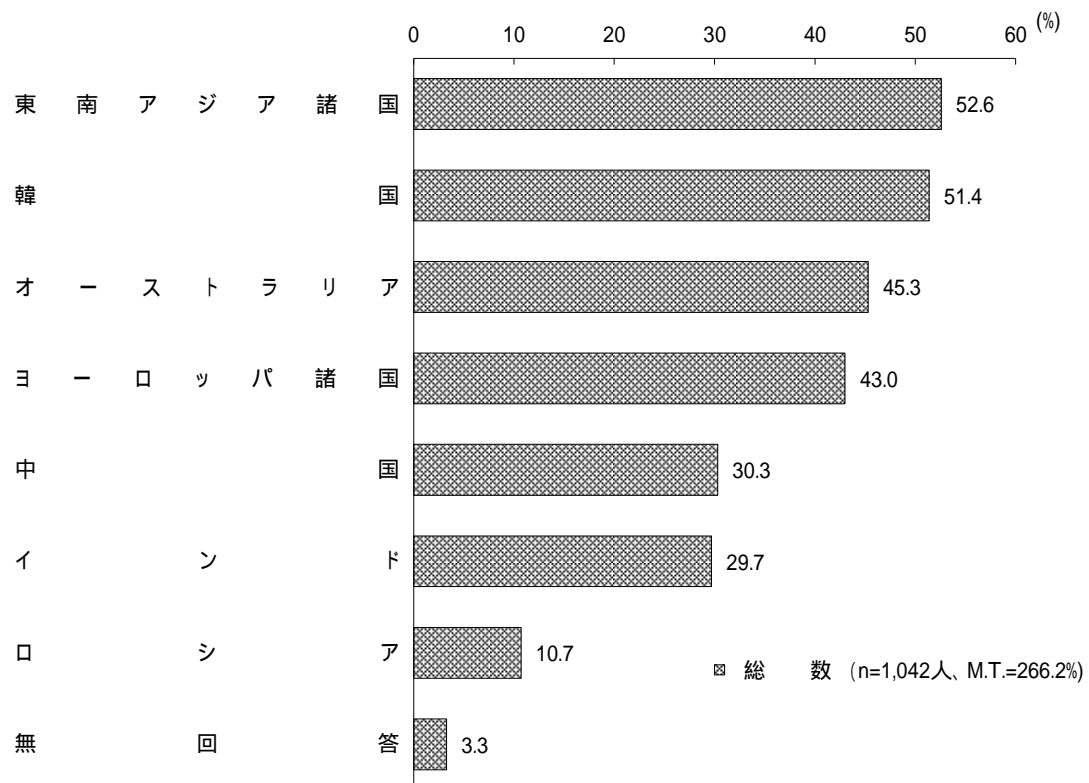


表 21 日本の平和と安全に役立つと考える国や地域

〔同盟国であるアメリカ以外の国や地域と防衛協力・交流を進展させることで、日本の平和と安全に「役立っている」、「どちらかといえば役立っている」と答えた者に、複数回答〕

	該 当 者 数	東 南 ア ジ ア 諸 国	韓 国	オ ー ス ト ラ リ ア	ヨ ー ロ ッ パ 諸 国	中 国	イ ン ド	ロ シ ア	無 回 答	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
総 〔都市規模〕	1,042	52.6	51.4	45.3	43.0	30.3	29.7	10.7	3.3	266.2
大 都 市	270	47.8	53.0	50.4	41.5	31.9	31.5	10.7	3.0	269.6
東 京 都 区 部	63	50.8	47.6	49.2	47.6	30.2	31.7	11.1	4.8	273.0
政 令 指 定 都 市	207	46.9	54.6	50.7	39.6	32.4	31.4	10.6	2.4	268.6
中 都 市	435	53.8	49.9	45.3	46.0	29.4	33.8	10.6	3.4	272.2
小 都 市	249	55.8	53.0	41.8	40.6	28.5	23.3	8.4	3.6	255.0
町 〔性〕	88	52.3	50.0	39.8	39.8	35.2	21.6	17.0	2.3	258.0
男 性	537	56.4	48.0	53.4	45.4	27.0	36.9	10.4	3.4	281.0
女 性	505	48.5	55.0	36.6	40.4	33.9	22.0	10.9	3.2	250.5
〔年 齢〕										
18 ~ 29 歳	111	42.3	48.6	27.0	45.9	44.1	17.1	15.3	3.6	244.1
30 ~ 39 歳	102	47.1	49.0	39.2	44.1	36.3	27.5	12.7	1.0	256.9
40 ~ 49 歳	148	52.0	41.2	38.5	43.9	30.4	33.8	15.5	4.1	259.5
50 ~ 59 歳	179	64.8	48.6	51.4	44.7	24.6	34.1	6.7	0.6	275.4
60 ~ 69 歳	212	50.5	54.2	47.2	41.0	30.2	29.7	8.0	5.2	266.0
70 歳 以 上	290	52.8	58.3	52.8	41.4	26.6	30.3	10.0	3.8	275.9

表 21 - 参考 役立っていると考える国・地域

〔平成24年1月調査では、同盟国であるアメリカ以外の国とも防衛上の交流を行うことは、日本の平和と安全に「役立っている」、「どちらかといえば役立っている」と答えた者に、複数回答
平成30年1月調査までは、同盟国であるアメリカ以外の国とも防衛協力・交流を進展させることは、日本の平和と安全に「役立っている」、「どちらかといえば役立っている」と答えた者に、複数回答〕

	該 当 者 数	中 国	東 南 ア ジ ア 諸 国	韓 国	な 除 ヨ ー ロ ッ パ 諸 国 （ フ ラ ン ス を 主 要 国 ）	オ ー ス ト ラ リ ア	ロ シ ア	イ ン ド	そ の 他	わ か ら な い	計 (M.T.)
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
平 成 24 年 1 月 調 査	1,524	61.7	45.9	61.5	27.3	17.2	28.3	19.2	0.4	6.0	267.5
平 成 27 年 1 月 調 査	1,383	40.3	49.0	40.8	36.9	25.8	25.2	19.5	0.4	7.4	245.3
平 成 30 年 1 月 調 査 (うち 20 歳 以 上)	1,308	44.0	42.4	41.3	33.9	30.5	26.1	24.4	0.5	8.4	251.5
平 成 30 年 1 月 調 査	1,330	43.8	42.2	41.1	34.1	30.2	26.1	24.3	0.5	8.3	250.5

(注1)平成24年1月調査では、「特に、どの国や地域と防衛上の交流を深めていくことが日本の平和と安全にとり役に立つと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注2)平成30年1月調査までは、「特に、どの国や地域との防衛協力・交流が日本の平和と安全にとり、役立つと思いますか。この中からいくつでもあげてください。」と聞いている。

(注3)平成30年1月調査までは、調査員による個別面接聴取法で実施しているため、令和4年11月調査との単純比較は行わない。

8 科学技術の防衛用途への転用について

(1) 先進的な科学技術の防衛用途への活用の賛否

問 22. あなたは、大学などの研究機関や民間企業などの先進的な科学技術を防衛用途で活用するとしたら、賛成しますか、反対しますか。(○は1つ)

令和4年11月

賛成(小計)

83.6%

- ・賛成
- ・どちらかといえば賛成

41.7%

41.9%

反対(小計)

15.1%

- ・どちらかといえば反対
- ・反対

10.7%

4.4%

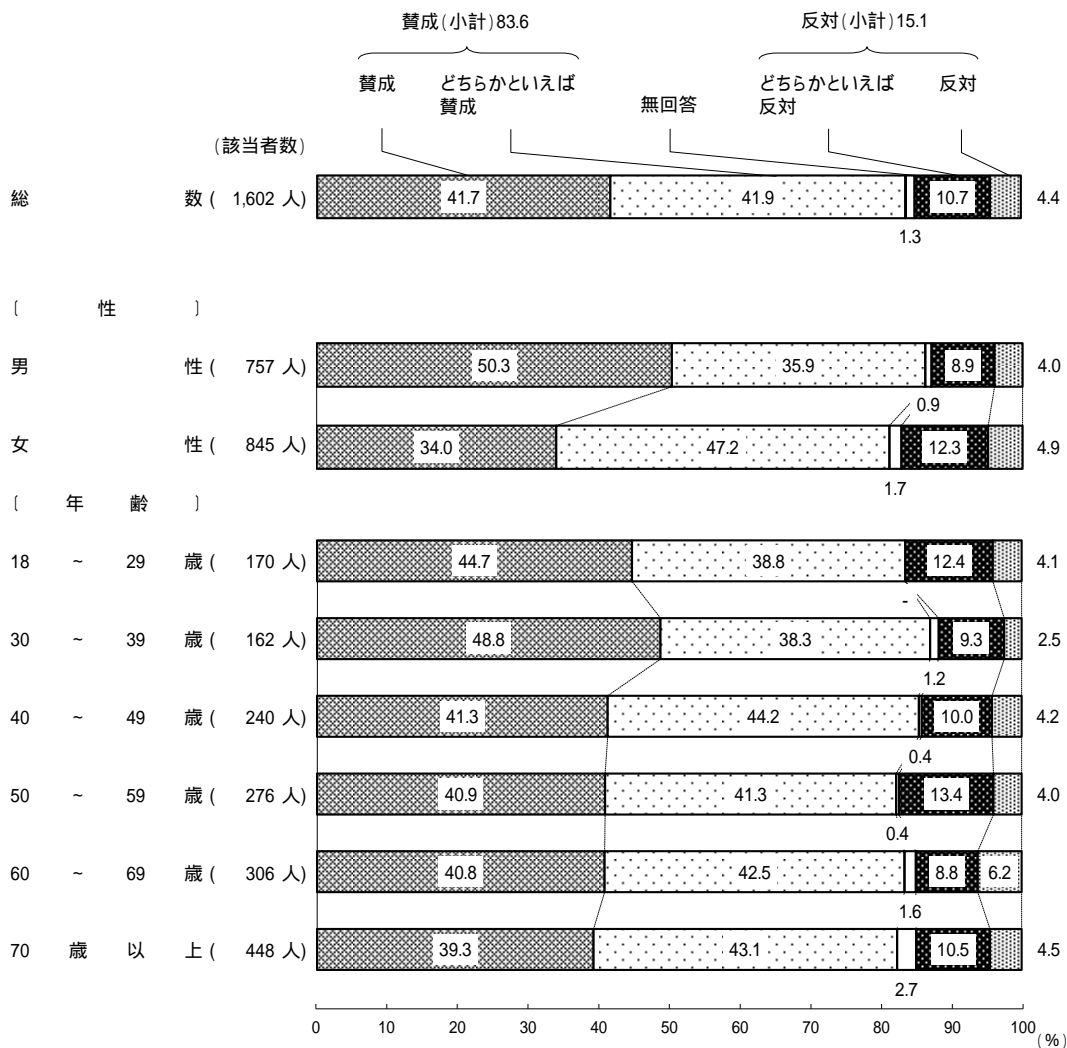


表 22 先進的な科学技術の防衛用途への活用の賛否

	該 当 者 数	賛			反			無 回 答
		(小計) 成	賛 成	どちらか といえば 賛成	(小計) 対	どちらか といえば 反対	反 対	
	人	%	%	%	%	%	%	%
総数	1,602	83.6	41.7	41.9	15.1	10.7	4.4	1.3
〔都市規模〕								
大都市	427	85.2	44.3	41.0	13.8	9.4	4.4	0.9
東京都区部	96	80.2	40.6	39.6	18.8	10.4	8.3	1.0
政令指定都市	331	86.7	45.3	41.4	12.4	9.1	3.3	0.9
中都市	669	81.3	43.0	38.3	16.9	11.4	5.5	1.8
小都市	371	84.9	40.2	44.7	13.7	11.3	2.4	1.3
町	135	85.9	31.1	54.8	14.1	9.6	4.4	-
〔性〕								
男性	757	86.3	50.3	35.9	12.8	8.9	4.0	0.9
女性	845	81.2	34.0	47.2	17.2	12.3	4.9	1.7
〔年齢〕								
18～29歳	170	83.5	44.7	38.8	16.5	12.4	4.1	-
30～39歳	162	87.0	48.8	38.3	11.7	9.3	2.5	1.2
40～49歳	240	85.4	41.3	44.2	14.2	10.0	4.2	0.4
50～59歳	276	82.2	40.9	41.3	17.4	13.4	4.0	0.4
60～69歳	306	83.3	40.8	42.5	15.0	8.8	6.2	1.6
70歳以上	448	82.4	39.3	43.1	15.0	10.5	4.5	2.7

自衛隊・防衛問題に関する世論調査

令和4年11月

(n=1,602)

自衛隊に対する関心についておうかがいします

この下の 問1 からお答えください

問1. あなたは、自衛隊について関心がありますか。
(は1つ)

- (19.1) 1. 非常に関心がある
 - (59.1) 2. ある程度関心がある
 - (16.9) 3. あまり関心がない
 - (3.2) 4. 全く関心がない
 - (1.6) 無回答
- 3又は4と答えた方は問3へ

右の段の 問4 に進んでください

問1で「1.非常に関心がある」、「2.ある程度関心がある」と答えた方への質問

問2. 自衛隊に関心がある理由は何ですか。
(は1つ)

- (n=1,253)
- (28.9) 1. 日本の平和と独立を守っている組織だから
 - (10.3) 2. 国際社会の平和と安全のために活動しているから
 - (53.1) 3. 大規模災害など各種事態への対応などで国民生活に密接なかかわりを持っているから
 - (1.6) 4. マスコミなどで話題になることが多いから
 - (3.8) 5. 国民の税金を使っているから
 - (2.3) 無回答

右の段の 問4 に進んでください

問1で「3.あまり関心がない」、「4.全く関心がない」と答えた方への質問

問3. 自衛隊に関心がない理由は何ですか。
(は1つ)

- (n=323)
- (22.0) 1. 差し迫った軍事的脅威が存在しないから
 - (1.2) 2. 自衛隊は必要ないから
 - (33.4) 3. 自分の生活に関係ないから
 - (41.8) 4. 自衛隊についてよくわからないから
 - (1.5) 無回答

ここからは、自衛隊に対する印象についておうかがいします

ここからは全員の方がお答えください

問4. あなたは、自衛隊に対してどのような印象を持っていますか。
(は1つ)

- (32.3) 1. 良い印象を持っている
- (58.5) 2. どちらかといえば良い印象を持っている
- (4.4) 3. どちらかといえば悪い印象を持っている
- (0.6) 4. 悪い印象を持っている
- (4.2) 無回答

次のページの【資料1】に進んでください

ここからは、自衛隊の規模についておうかがいします

全員の方が【資料1】を読んでから下の問5にお答えください

【資料1】

わが国周辺における主な兵力の状況（概数）

国と地域		陸上兵力 (人数)	海上兵力 (艦艇トン数)	航空兵力 (作戦機数)
日	本	14万人	51万t	360機
韓	国	42万人 海兵隊 2.9万人	28万t	660機
北	朝 鮮	110万人	11万t	550機
中	国	97万人 海兵隊 4万人	224万t	3,030機
台	湾	9.4万人 海兵隊 1万人	20.5万t	520機
極	東 口 シ ア	8万人	61万t	320機
米 国	在 日 米 軍	2万人		150機
	米 第 7 艦 隊		40万t	50機
	在 韓 米 軍	2万人		80機

- (注) 1 資料は、米国防省公表資料、「ミリタリーバランス(2022)」、「SIPRI Yearbook 2021」などによる。
 2 日本については2021年度末における各自衛隊の実勢力を示し、作戦機数は空自の作戦機（輸送機を除く）及び海自の作戦機（固定翼機のみ）の合計である。
 3 在日・在韓駐留米軍の陸上兵力は、陸軍および海兵隊の総数を示す。
 4 作戦機については、海軍及び海兵隊機を含む。
 5 米第7艦隊については、日本及びグアムに前方展開している兵力を示す。
 6 在日米軍及び米第7艦隊の作戦機数については戦闘機のみ。

問5. あなたは、自衛隊の規模をどのようにした方がよいと思いますか。

(は1つ)

- (41.5) 1. 増強した方がよい
 (53.0) 2. 今の程度でよい
 (3.6) 3. 縮小した方がよい
 (1.9) 無回答

ここからは、自衛隊の役割と活動についておうかがいします

問6. あなたは、自衛隊にどのような役割を期待しますか。
 (はいいくつでも)

- (78.3) 1. 周辺海空域における安全確保、島々に対する攻撃への対応など国の安全の確保
 (55.7) 2. 弾道ミサイル攻撃への対応
 (77.7) 3. 住民の避難など、日本が武力攻撃を受けた時の国民の保護
 (88.3) 4. 災害の時の救援活動や緊急の患者輸送などの災害派遣
 (27.3) 5. 在外邦人などの輸送・保護措置
 (17.2) 6. 宇宙空間やサイバー空間などの安定利用への貢献
 (30.5) 7. 国連平和維持活動、国際緊急援助活動、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処など海外の活動
 (31.8) 8. 各国防衛当局との会談・協議、共同訓練、防衛装備協力、能力構築支援など防衛協力・交流の推進
 (17.7) 9. 軍備管理・軍縮、不拡散の努力への協力
 (1.0) 無回答 (M.T.=425.5)

**全員の方が【資料2】を読んでから下の問7に
お答えください**

【資料2】

1991年以降、これまで自衛隊が取り組んできた海外での活動には、2022年8月現在、次のようなものがあります。

国際平和協力業務

国連平和維持活動として、カンボジア、ゴラン高原、ハイチ、東ティモール、南スーダンなどにおける9件の国連平和維持活動を実施。

人道的な国際救援活動として、ルワンダ難民救援、東ティモール避難民救援、ウクライナ被災民救援などの6件の活動を実施。

国際連携平和安全活動として、シナイ半島における「多国籍部隊・監視団」で活動を実施。

国際緊急援助活動

ホンジュラスのハリケーン災害、インドネシアの地震災害、フィリピンの台風災害、オーストラリアの森林火災災害、トンガ王国の火山災害などにおける24件の国際緊急援助隊法に基づく活動を実施。

その他の活動

ペルシャ湾への掃海部隊派遣、イラクにおける人道復興支援活動、インド洋における補給支援活動、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処、中東地域における日本関係船舶の安全確保に必要な活動を実施。

問7. あなたは、国連平和維持活動への参加や国際緊急援助活動など、自衛隊の海外での活動について、今後、自衛隊はどのように取り組んでいくべきだと思いますか。

(は1つ)

- (20.0) 1. これまで以上に積極的に取り組むべきである
- (68.1) 2. 現状の取り組みを維持すべきである
- (7.5) 3. これまでの取り組みから縮小すべきである
- (1.4) 4. 取り組むべきでない
- (3.0) 無回答

**ここからは、身近な人が自衛隊員になることについて
お答えください**

問8. あなたは、もし身近な人が自衛隊員になりたいと言ったら、賛成しますか、反対しますか。

(は1つ)

- (21.0) 1. 賛成
- (47.6) 2. どちらかといえば賛成
- (25.0) 3. どちらかといえば反対
- (4.5) 4. 反対
- (1.9) 無回答

3又は4と答えた方は問10へ

次のページの問11に進んでください

問8で「1. 賛成」、「2. どちらかといえば賛成」と答えた方への質問

問9. 自衛隊員になることに賛成する理由は何ですか。

(はいくつでも)

- (n=1,100)
- (65.6) 1. 日本の平和と独立を守るという誇りのある仕事だから
 - (50.7) 2. 国際社会の平和と安全に役立つ仕事だから
 - (55.2) 3. 立派な仕事のひとつだから
 - (19.3) 4. 団体生活をするにより、しっかりした人間になるから
 - (19.8) 5. 公務員としての身分が安定しているから
 - (8.0) 6. 給与、待遇が良いから
 - (21.9) 7. いろいろな技術を身につけることができ、将来有利だから
 - (8.5) 8. 身近に自衛隊員がいるから
 - (34.2) 9. 自衛隊がなくては困るから
 - (0.7) 無回答 (M.T.=284.0)

次のページの問11に進んでください

問8で「3. どちらかといえば反対」、「4. 反対」と答えた方への質問

問10. 自衛隊員になることに反対する理由は何ですか。

(はいくつでも)

- (n=472)
- (79.7) 1. 戦争などが起こった時は危険な仕事だから
 - (19.5) 2. 自衛隊の社会的評価が必ずしも高いと思えないから
 - (31.8) 3. 仕事が厳しそうだから
 - (7.6) 4. 転勤があるから
 - (7.8) 5. 任期制では将来が不安だから
 - (4.7) 6. 定年が早いから
 - (4.9) 7. 給与、待遇が良くないから
 - (16.3) 8. 一般社会と隔離されるので適応力が欠けるから
 - (46.0) 9. 自衛隊の実情がよくわからないから
 - (3.0) 10. 自衛隊の必要性を認めていないから
 - (0.6) 無回答 (M.T.=221.8)

次のページの問11に進んでください

ここからは、防衛への意識についておうかがいします

ここからは全員の方がお答えください

問11. あなたは、もし日本が外国から侵略された場合、どうしますか。

(は1つ)

- (4.7) 1 . 自衛隊に志願する
- (51.1) 2 . 自衛隊に志願しないものの、何らかの方法で自衛隊を支援する
- (17.0) 3 . 侵略した外国に対して、武力によらない抵抗をする
- (1.4) 4 . 侵略した外国に対して、一切抵抗しない
- (24.3) 5 . 何ともいえない
- (1.4) 無回答

問12. あなたは、国の防衛について教育の場で取り上げる必要があると思いますか。

(は1つ)

- (47.8) 1 . 取り上げる必要がある
- (41.4) 2 . どちらかといえば取り上げる必要がある
- (6.6) 3 . どちらかといえば取り上げる必要はない
- (2.7) 4 . 取り上げる必要はない
- (1.4) 無回答

ここからは、日本の防衛のあり方についておうかがいします

問13. 現在、日本はアメリカと安全保障条約を結んでいます。あなたは、この日米安全保障条約は日本の平和と安全に役立っていると思いますか。

(は1つ)

- (39.1) 1 . 役立っている
- (50.6) 2 . どちらかといえば役立っている
- (7.1) 3 . どちらかといえば役立っていない
- (2.0) 4 . 役立っていない
- (1.2) 無回答

問14. あなたは、日本の安全を守るためには、日米安全保障条約と自衛隊の防衛はどうあるべきだと思いますか。

(は1つ)

- (90.9) 1 . 日米安全保障条約を続け、自衛隊で日本の安全を守るべきである
- (5.6) 2 . 日米安全保障条約をやめて、自衛隊だけで日本の安全を守るべきである
- (1.6) 3 . 日米安全保障条約をやめて、自衛隊も縮小または廃止するべきである
- (1.9) 無回答

問15. あなたは、現在の世界の情勢から考えて、日本が戦争を仕掛けられたり、戦争に巻き込まれたりする危険があると思いますか。

(は1つ)

- (38.1) 1 . 危険がある
- (48.1) 2 . どちらかといえば危険がある
- (11.2) 3 . どちらかといえば危険がない
- (1.6) 4 . 危険がない
- (1.0) 無回答

1又は2と答えた方は問16へ

右の段の問17に進んでください

右の段の問18に進んでください

問15で「1.危険がある」、「2.どちらかといえば危険がある」と答えた方への質問

問16. 危険があると思う理由は何ですか。

(はいくつでも)

- (n=1,381)
- (85.7) 1 . 国際的な緊張や対立があるから
 - (28.2) 2 . 自衛力が不十分だから
 - (38.2) 3 . 国連の機能が不十分だから
 - (11.7) 4 . 日米安全保障条約があるから
 - (1.0) 無回答 (M.T.=164.8)

問15で「3.どちらかといえば危険がない」、「4.危険がない」と答えた方への質問

問17. 危険がないと思う理由は何ですか。

(はいくつでも)

- (n=205)
- (16.6) 1 . 自衛隊があるから
 - (56.6) 2 . 日米安全保障条約があるから
 - (43.9) 3 . 国連が平和への努力をしているから
 - (47.8) 4 . 戦争放棄の憲法があるから
 - (19.0) 5 . 国民の国を守る意識が高いから
 - (2.0) 無回答 (M.T.=185.9)

ここからは全員の方がお答えください

問18. あなたは、防衛問題について、どのようなことに関心を持っていますか。

(はいくつでも)

- (64.0) 1 . 日本の防衛力・防衛体制
- (30.4) 2 . 日本の周辺地域における米国の軍事態勢
- (37.6) 3 . 日本の周辺地域におけるロシア軍の配備・活動
- (61.3) 4 . 中国の軍事力の近代化や、日本の周辺地域・東シナ海・南シナ海などにおける活動
- (68.9) 5 . 北朝鮮による核兵器や弾道ミサイル開発などの活動
- (52.1) 6 . ロシアによるウクライナ侵略の状況やその影響
- (23.9) 7 . 大量破壊兵器やミサイルなどに関する軍備管理・軍縮分野
- (20.2) 8 . 宇宙空間・サイバー空間をめぐる動向
- (22.5) 9 . フェイクニュースの流布や情報発信・意思決定の妨害などの情報戦をめぐる動向
- (2.1) 無回答 (M.T.=383.0)

右のページの【資料3】に進んでください

【資料3】

平和安全法制とは

【概要】

2015年9月に成立した平和安全法制は、自衛隊がいざという時に国民の命と平和な暮らしを守るため、あらゆる事態に対して切れ目のない対応を行う態勢を整え、日米間の防衛協力を強化するとともに、他の関係国との信頼・協力関係を深めるためのものです。

【平和安全法制で対応が可能となったこと】

平和安全法制によって、例えば、以下の対応が可能となりました。

○日本と密接な関係にある他国が武力攻撃を受け、武力で対処をしなければ、深刻・重大な被害が日本国民に及ぶことが明らかな場合に、日本の防衛のために自衛隊が対処すること。

○日本の平和と安全に重要な影響を与える事態や、国際社会の平和と安全を脅かす事態において、自衛隊が外国の軍隊を支援すること。

○外国における緊急事態において、自衛隊が外国に在住する日本人の警護、救出などを行うこと。

○日本の防衛のために活動している米軍などの船舶、航空機、車両などを自衛隊が守ること。

○国連平和維持活動などにおいて、NGOなどが襲撃されたときに、自衛隊が駆け付けて保護すること。

【平和安全法制施行後の自衛隊の取組】

平和安全法制の施行以降、平和安全法制に基づく新たな任務に係る他国との訓練を通じて、自衛隊の任務遂行能力の向上と、関係国との連携の強化に努めています。

また、次のような取組も行っています。

○2016年11月、南スーダン派遣施設隊第11次要員に対し、いわゆる「駆け付け警護」や宿営地の共同防衛といった新たな任務の付与を行いました。

○2019年4月から、シナイ半島における「多国籍部隊・監視団」で活動を実施しています。

○2021年は、米軍に対して21件、オーストラリア軍に対して1件の艦艇、航空機の警護を行いました。

問19. あなたは、平和安全法制が日本の安全保障に役立っていると思いますか。

(は1つ)

- (23.2) 1. 役立っている
- (40.6) 2. どちらかといえば役立っている
- (27.9) 3. どちらともいえない
- (3.2) 4. どちらかといえば役立っていない
- (2.5) 5. 役立っていない
- (2.6) 無回答

問20. あなたは、同盟国であるアメリカ以外の国や地域と防衛協力・交流を進展させることで、日本の平和と安全に役立っていると思いますか。

(は1つ)

1又は2と答えた方は問21へ

- (27.3) 1. 役立っている
- (37.8) 2. どちらかといえば役立っている
- (27.7) 3. どちらともいえない
- (2.3) 4. どちらかといえば役立っていない
- (2.0) 5. 役立っていない
- (2.9) 無回答

問20で「1.役立っている」、「2.どちらかといえば役立っている」と答えた方への質問

問21. 特に、どの国や地域との防衛協力・交流が日本の平和と安全にとって、役に立つと思いますか。

(はいくつでも)

(n=1,042)

- (51.4) 1. 韓国
- (30.3) 2. 中国
- (52.6) 3. 東南アジア諸国
- (45.3) 4. オーストラリア
- (29.7) 5. インド
- (10.7) 6. ロシア
- (43.0) 7. ヨーロッパ諸国
- (3.3) 無回答

(M.T.=266.2)

次のページの問22に進んでください

次のページの問22に進んでください

ここからは、科学技術の防衛用途への転用について
おうかがいします

ここからは全員の方がお答えください

問22. あなたは、大学などの研究機関や民間企業などの先進的な科学技術を防衛用途で活用するとしたら、賛成しますか、反対しますか。

(は1つ)

- (41.7) 1. 賛成
- (41.9) 2. どちらかといえば賛成
- (10.7) 3. どちらかといえば反対
- (4.4) 4. 反対
- (1.3) 無回答

ご回答を統計的に分析するために、あなたご自身のことをおうかがいします

F1. 差し支えなければ、あなたの性別をお答えください。(は1つ)

- (47.3) 1. 男性
- (52.7) 2. 女性

F2. あなたのお年は満でいくつですか。年齢をお書きください。

歳

- (1.9) 18~19 歳 (6.9) 40~44 歳 (10.4) 65~69 歳
- (3.9) 20~24 歳 (8.1) 45~49 歳 (12.3) 70~74 歳
- (4.9) 25~29 歳 (8.6) 50~54 歳 (7.1) 75~79 歳
- (5.2) 30~34 歳 (8.7) 55~59 歳 (8.6) 80 歳以上
- (4.9) 35~39 歳 (8.7) 60~64 歳

F3. あなたのお仕事についておうかがいします。あなたは、この中のどれに当たりますか。どれに当てはまるかわからない場合には、「8.」に をつけ、「その他」の欄にできるだけ具体的にお書きください。

(は1つ)

- (33.3) 1. 役員を含む、正規の職員・従業員
- (15.0) 2. 期間従業員、契約社員、派遣社員を含む、非正規の職員・従業員
- (7.6) 3. 自分で、または共同で事業を営んでいる自営業主、自由業
- (2.6) 4. 家族従業者・家族が営んでいる事業を手伝っている者
- (16.9) 5. 主婦・主夫
- (3.9) 6. 学生
- (20.0) 7. 無職
- (0.5) 8. その他

できるだけ具体的にお書きください。

- (0.2) 無回答

今後の調査実施の参考とするため、ここからは今回の調査についておうかがいします

問A. 今回の調査の答えやすさはどうでしたか。

(は1つ)

- (54.8) 1. 答えやすかった
- (17.0) 2. 答えにくかった
- (27.3) 3. どちらともいえない
- (0.8) 無回答

問B. 今回の調査の分量はどうでしたか。

(は1つ)

- (9.3) 1. 少ないと感じた
- (78.4) 2. 適当と感じた
- (10.8) 3. 多いと感じた
- (1.5) 無回答

問C. 今回の調査への回答に要した時間は、およそどれくらいでしたか。

(は1つ)

- (44.4) 1. 15分未満
- (44.1) 2. 15~30分程度
- (10.7) 3. 30分以上
- (0.8) 無回答

問D. 今回の調査にご回答いただいたのは、どなた様ですか。

(は1つ)

- (97.2) 1. 郵便宛名のご本人様
- (2.0) 2. ご本人様のご意見を代理の方が記入
- (-) 3. 代理の方(代理の方のご意見を記入)

代理の方が記入された理由をお教えてください。

- (0.8) 無回答